

2022年度
シラバス
(講義計画)

学校法人 立志舎
京都公務員&IT会計専門学校
【法律学科】

昼間部 文化・教養専門課程 法律学科[2年制]

頁数	科目区分	必修選択	授業科目	授業形態	第一学年		第二学年		授業時数合計	単位数合計
					授業時数	単位数	授業時数	単位数		
1	一般科目	選択必修	社会科学概論 I A	講義	40	2			40	2
2	一般科目	選択必修	社会科学概論 I B	講義	80	4			80	4
3	一般科目	選択必修	社会科学概論 II	講義	40	2			40	2
4	一般科目	選択必修	人文科学概論 I A	講義	40	2			40	2
5	一般科目	選択必修	人文科学概論 I B	講義	100	5			100	5
6	一般科目	選択必修	人文科学概論 II A	講義	40	2			40	2
7	一般科目	選択必修	人文科学概論 II B	講義	80	4			80	4
8	一般科目	選択必修	自然科学概論 I A	講義	40	2			40	2
9	一般科目	選択必修	自然科学概論 I B	講義	60	3			60	3
10	一般科目	選択必修	自然科学概論 II A	講義	60	3			60	3
11	一般科目	選択必修	自然科学概論 II B	講義	80	4			80	4
12	一般科目	選択必修	社会科学演習 I A	演習			40	2	40	2
13	一般科目	選択必修	社会科学演習 I B	演習			80	4	80	4
14	一般科目	選択必修	人文科学演習 I	演習			40	2	40	2
15	一般科目	選択必修	自然科学演習 I	演習			40	2	40	2
16	一般科目	選択必修	現代国語 B	演習			100	5	100	5
17	一般科目	選択必修	論文作成 I	演習			40	2	40	2
18	一般科目	選択必修	時事研究 I	講義			40	2	40	2
19	一般科目	選択必修	キャリアデザイン I	演習			40	2	40	2
20	専門科目	必修	就職セミナー I	演習	20	1			20	1
21	専門科目	必修	職業実務 I A	演習	20	1			20	1
22	専門科目	必修	職業実務 II A	演習			20	1	20	1
23	専門科目	必修	職業実務 II B	演習			20	1	20	1
24	専門科目	選択必修	職業実務 I B	演習	20	1			20	1
25	専門科目	選択必修	職業実務 I C	演習	20	1			20	1
26	専門科目	選択必修	職業実務 I D	演習	20	1			20	1
27	専門科目	選択必修	職業実務 II C	演習			20	1	20	1
28	専門科目	選択必修	職業実務 II D	演習			20	1	20	1
29	専門科目	選択必修	数的推理 I	演習	80	4			80	4
30	専門科目	選択必修	数的推理 II	演習	60	3			60	3
31	専門科目	選択必修	判断推理 I	演習	80	4			80	4
32	専門科目	選択必修	判断推理 II	演習	60	3			60	3
33	専門科目	選択必修	資料分析 I A	演習	20	1			20	1
34	専門科目	選択必修	資料分析 I B	演習	40	2			40	2
35	専門科目	選択必修	資料分析演習 I	演習	40	2			40	2
36	専門科目	選択必修	文章研究 I	演習	20	1			20	1
37	専門科目	選択必修	文章研究 II	演習	20	1			20	1
38	専門科目	選択必修	適性演習 I	演習	20	1			20	1
39	専門科目	選択必修	適性演習 II	演習	20	1			20	1
40	専門科目	選択必修	官公庁研究 I	演習	20	1			20	1
41	専門科目	選択必修	ビジネス実務	講義	20	1			20	1
42	専門科目	選択必修	憲法概論 I	講義	80	4			80	4
43	専門科目	選択必修	民法概論 I	講義	100	5			100	5
44	専門科目	選択必修	民法概論 II	講義	80	4			80	4
45	専門科目	選択必修	行政法概論 I	講義	40	2			40	2
46	専門科目	選択必修	行政法概論 II	講義	80	4			80	4
47	専門科目	選択必修	経済学 I	講義	100	5			100	5
48	専門科目	選択必修	経済学 II	講義	60	3			60	3
49	専門科目	選択必修	経済学演習 I	演習	60	3			60	3
50	専門科目	選択必修	経営学 I	講義	20	1			20	1
51	専門科目	選択必修	政治学 I	講義	20	1			20	1
52	専門科目	選択必修	財政学 I	講義	20	1			20	1
53	専門科目	選択必修	行政学 I	講義	20	1			20	1
54	専門科目	選択必修	社会学 I	講義	20	1			20	1
55	専門科目	選択必修	憲法演習 I	演習	60	3			60	3
56	専門科目	選択必修	数的推理演習	演習			100	5	100	5
57	専門科目	選択必修	判断推理演習	演習			100	5	100	5
58	専門科目	選択必修	資料分析演習	演習			40	2	40	2
59	専門科目	選択必修	資料分析演習 II	演習			40	2	40	2
60	専門科目	選択必修	文章研究 III	演習			40	2	40	2
61	専門科目	選択必修	適性演習 II	演習			40	2	40	2
62	専門科目	選択必修	社会法学	講義			20	1	20	1
63	専門科目	選択必修	民法演習	演習	80	4			80	4
64	専門科目	選択必修	民法演習 I	演習	60	3			60	3
65	専門科目	選択必修	経済学演習 II	演習	60	3			60	3
66	専門科目	選択必修	教育心理学	講義	20	1			20	1
67	専門科目	選択必修	政治学・行政学演習 I	演習	20	1			20	1
68	専門科目	選択必修	経営学・財政学演習 I	演習	20	1			20	1
69	専門科目	選択必修	社会心理学	講義	20	1			20	1
70	専門科目	選択必修	企業研究 II	演習	20	1			20	1
71	専門科目	選択必修	官公庁研究 II	演習	20	1			20	1
72	専門科目	選択必修	コンピュータ演習	演習	20	1			20	1
73	専門科目	選択必修	卒業研究	演習			160	8	160	8
	必修		科目合計		40		40		80	
	選択		科目合計		1980		1340		3320	
	卒業に必要		な総授業時数		920		800		1720	

科目名	社会科学概論 I A	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 政治：民主政治の基本原則 1 | 21. 経済：経済のしくみ (2) 1 |
| 2. 政治：民主政治の基本原則 2 | 22. 経済：経済のしくみ (2) 2 |
| 3. 政治：民主政治の基本原則 3 | 23. 経済：経済のしくみ (2) 3 |
| 4. 政治：日本国憲法的基本的性格 1 | 24. 経済：経済のしくみ (2) 4 |
| 5. 政治：日本国憲法的基本的性格 2 | 25. 経済：経済のしくみ (2) 5 |
| 6. 政治：日本国憲法的基本的性格 3 | 26. 経済：経済の発展と福祉の向上 1 |
| 7. 政治：日本の統治機構 1 | 27. 経済：経済の発展と福祉の向上 2 |
| 8. 政治：日本の統治機構 2 | 28. 経済：経済の発展と福祉の向上 3 |
| 9. 政治：日本の統治機構 3 | 29. 経済：経済の発展と福祉の向上 4 |
| 10. 政治：日本の政治の現状と問題 1 | 30. 経済：経済の発展と福祉の向上 5 |
| 11. 政治：日本の政治の現状と問題 2 | 31. 憲法：憲法前文～第 103 1 |
| 12. 政治：日本の政治の現状と問題 3 | 32. 憲法：憲法前文～第 103 2 |
| 13. 政治：国際社会 1 | 33. 憲法：憲法前文～第 103 3 |
| 14. 政治：国際社会 2 | 34. 憲法：憲法前文～第 103 4 |
| 15. 政治：国際社会 3 | 35. 憲法：憲法前文～第 103 5 |
| 16. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 1 | 36. 憲法：法学概論 1 |
| 17. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 2 | 37. 憲法：法学概論 2 |
| 18. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 3 | 38. 憲法：法学概論 3 |
| 19. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 4 | 39. 憲法：法学概論 4 |
| 20. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 5 | 40. 憲法：法学概論 5 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治・経済・憲法に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学概論 I B	開講年次	1 年	授業時数	80	単位数	4
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 政治：民主政治の基本原則 1 | 41. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 1 |
| 2. 政治：民主政治の基本原則 2 | 42. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 2 |
| 3. 政治：民主政治の基本原則 3 | 43. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 3 |
| 4. 政治：民主政治の基本原則 4 | 44. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 4 |
| 5. 政治：民主政治の基本原則 5 | 45. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 5 |
| 6. 政治：民主政治の基本原則 6 | 46. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 6 |
| 7. 政治：民主政治の基本原則 7 | 47. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 7 |
| 8. 政治：民主政治の基本原則 8 | 48. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 8 |
| 9. 政治：日本国憲法の基本的性格 1 | 49. 経済：経済のしくみ (2) 1 |
| 10. 政治：日本国憲法の基本的性格 2 | 50. 経済：経済のしくみ (2) 2 |
| 11. 政治：日本国憲法の基本的性格 3 | 51. 経済：経済のしくみ (2) 3 |
| 12. 政治：日本国憲法の基本的性格 4 | 52. 経済：経済のしくみ (2) 4 |
| 13. 政治：日本国憲法の基本的性格 5 | 53. 経済：経済のしくみ (2) 5 |
| 14. 政治：日本国憲法の基本的性格 6 | 54. 経済：経済のしくみ (2) 6 |
| 15. 政治：日本国憲法の基本的性格 7 | 55. 経済：経済のしくみ (2) 7 |
| 16. 政治：日本国憲法の基本的性格 8 | 56. 経済：経済のしくみ (2) 8 |
| 17. 政治：日本の統治機構 1 | 57. 経済：経済の発展と福祉の向上 1 |
| 18. 政治：日本の統治機構 2 | 58. 経済：経済の発展と福祉の向上 2 |
| 19. 政治：日本の統治機構 3 | 59. 経済：経済の発展と福祉の向上 3 |
| 20. 政治：日本の統治機構 4 | 60. 経済：経済の発展と福祉の向上 4 |
| 21. 政治：日本の統治機構 5 | 61. 経済：経済の発展と福祉の向上 5 |
| 22. 政治：日本の統治機構 6 | 62. 経済：経済の発展と福祉の向上 6 |
| 23. 政治：日本の統治機構 7 | 63. 経済：経済の発展と福祉の向上 7 |
| 24. 政治：日本の統治機構 8 | 64. 経済：経済の発展と福祉の向上 8 |
| 25. 政治：日本の政治の現状と問題 1 | 65. 憲法：憲法前文～第 103 1 |
| 26. 政治：日本の政治の現状と問題 2 | 66. 憲法：憲法前文～第 103 2 |
| 27. 政治：日本の政治の現状と問題 3 | 67. 憲法：憲法前文～第 103 3 |
| 28. 政治：日本の政治の現状と問題 4 | 68. 憲法：憲法前文～第 103 4 |
| 29. 政治：日本の政治の現状と問題 5 | 69. 憲法：憲法前文～第 103 5 |
| 30. 政治：日本の政治の現状と問題 6 | 70. 憲法：憲法前文～第 103 6 |
| 31. 政治：日本の政治の現状と問題 7 | 71. 憲法：憲法前文～第 103 7 |
| 32. 政治：日本の政治の現状と問題 8 | 72. 憲法：憲法前文～第 103 8 |
| 33. 政治：国際社会 1 | 73. 憲法：法学概論 1 |
| 34. 政治：国際社会 2 | 74. 憲法：法学概論 2 |
| 35. 政治：国際社会 3 | 75. 憲法：法学概論 3 |
| 36. 政治：国際社会 4 | 76. 憲法：法学概論 4 |
| 37. 政治：国際社会 5 | 77. 憲法：法学概論 5 |
| 38. 政治：国際社会 6 | 78. 憲法：法学概論 6 |
| 39. 政治：国際社会 7 | 79. 憲法：法学概論 7 |
| 40. 政治：国際社会 8 | 80. 憲法：法学概論 8 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治・経済・憲法に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学概論Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および現代社会について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 現代の経済社会と経済活動 1 | 21. 現代社会と私たち 1 |
| 2. 現代の経済社会と経済活動 2 | 22. 現代社会と私たち 2 |
| 3. 現代の経済社会と経済活動 3 | 23. 現代社会と私たち 3 |
| 4. 現代の経済社会と経済活動 4 | 24. 現代社会と私たち 4 |
| 5. 現代の経済社会と経済活動 5 | 25. 現代社会と私たち 5 |
| 6. 現代の経済社会と経済活動 6 | 26. 現代社会と私たち 6 |
| 7. 現代の経済社会と経済活動 7 | 27. 現代社会と私たち 7 |
| 8. 現代の経済社会と経済活動 8 | 28. 現代社会と私たち 8 |
| 9. 現代の経済社会と経済活動 9 | 29. 現代社会と私たち 9 |
| 10. 現代の経済社会と経済活動 10 | 30. 現代社会と私たち 10 |
| 11. 現代の民主政治 1 | 31. 国際社会の動向と日本 1 |
| 12. 現代の民主政治 2 | 32. 国際社会の動向と日本 2 |
| 13. 現代の民主政治 3 | 33. 国際社会の動向と日本 3 |
| 14. 現代の民主政治 4 | 34. 国際社会の動向と日本 4 |
| 15. 現代の民主政治 5 | 35. 国際社会の動向と日本 5 |
| 16. 現代の民主政治 6 | 36. 国際社会の動向と日本 6 |
| 17. 現代の民主政治 7 | 37. 国際社会の動向と日本 7 |
| 18. 現代の民主政治 8 | 38. 国際社会の動向と日本 8 |
| 19. 現代の民主政治 9 | 39. 国際社会の動向と日本 9 |
| 20. 現代の民主政治 10 | 40. 国際社会の動向と日本 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

現代社会に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学概論 I A	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本の歴史の展開を世界的視点に立って理解し、日本の文化・芸術および思想等の特色についての理解を目指す。また、ことばと漢字についての読み方、意味、書き方、使い方等を学習し、実力を養成する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 日本史：古代 1 | 21. 国語：四字熟語 1 |
| 2. 日本史：古代 2 | 22. 国語：四字熟語 2 |
| 3. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 1 | 23. 国語：故事成語 1 |
| 4. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 2 | 24. 国語：故事成語 2 |
| 5. 日本史：室町・安土桃山時代 1 | 25. 国語：故事成語 3 |
| 6. 日本史：室町・安土桃山時代 2 | 26. 国語：慣用句 1 |
| 7. 日本史：江戸時代（1） 1 | 27. 国語：慣用句 2 |
| 8. 日本史：江戸時代（1） 2 | 28. 国語：慣用句 3 |
| 9. 日本史：江戸時代（2） 1 | 29. 国語：ことわざ 1 |
| 10. 日本史：江戸時代（2） 2 | 30. 国語：ことわざ 2 |
| 11. 日本史：江戸時代（2） 3 | 31. 国語：ことわざ 3 |
| 12. 日本史：江戸時代（3）・明治時代（1） 1 | 32. 国語：難読語 1 |
| 13. 日本史：江戸時代（3）・明治時代（1） 2 | 33. 国語：難読語 2 |
| 14. 日本史：明治時代（2）・大正時代（1） 1 | 34. 国語：同音異義語 1 |
| 15. 日本史：明治時代（2）・大正時代（1） 2 | 35. 国語：同音異義語 2 |
| 16. 日本史：大正時代（2）・昭和時代（1） 1 | 36. 国語：同音異義語 3 |
| 17. 日本史：大正時代（2）・昭和時代（1） 2 | 37. 国語：同訓異義語 1 |
| 18. 日本史：昭和時代（2） 1 | 38. 国語：同訓異義語 2 |
| 19. 日本史：昭和時代（2） 2 | 39. 国語：同訓異義語 3 |
| 20. 日本史：昭和時代（2） 3 | 40. 国語：誤りやすいことば |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

日本史・漢字に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学概論 I B	開講年次	1 年	授業時数	100	単位数	5
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本の歴史の展開を世界的視点に立って理解し、日本の文化・芸術および思想等の特色についての理解を目指す。また、ことばと漢字についての読み方、意味、書き方、使い方等を学習し、実力を養成する。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|-----------------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 日本史：古代 1 | 41. 日本史：昭和時代 (2) 1 | 81. 漢字検定：四字熟語 4 |
| 2. 日本史：古代 2 | 42. 日本史：昭和時代 (2) 2 | 82. 漢字検定：対義語・類義語 1 |
| 3. 日本史：古代 3 | 43. 日本史：昭和時代 (2) 3 | 83. 漢字検定：対義語・類義語 2 |
| 4. 日本史：古代 4 | 44. 日本史：昭和時代 (2) 4 | 84. 漢字検定：同音・同訓異字 1 |
| 5. 日本史：古代 5 | 45. 日本史：昭和時代 (2) 5 | 85. 漢字検定：同音・同訓異字 2 |
| 6. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 1 | 46. 国語：四字熟語 1 | 86. 漢字検定：誤字訂正 1 |
| 7. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 2 | 47. 国語：四字熟語 2 | 87. 漢字検定：誤字訂正 2 |
| 8. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 3 | 48. 国語：四字熟語 3 | 88. 漢字検定：誤字訂正 3 |
| 9. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 4 | 49. 国語：故事成語 1 | 89. 漢字検定：誤字訂正 4 |
| 10. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 5 | 50. 国語：故事成語 2 | 90. 漢字検定：漢字と送りかな 1 |
| 11. 日本史：室町・安土桃山時代 1 | 51. 国語：故事成語 3 | 91. 漢字検定：漢字と送りかな 2 |
| 12. 日本史：室町・安土桃山時代 2 | 52. 国語：慣用句 1 | 92. 漢字検定：書き取り 1 |
| 13. 日本史：室町・安土桃山時代 3 | 53. 国語：慣用句 2 | 93. 漢字検定：書き取り 2 |
| 14. 日本史：室町・安土桃山時代 4 | 54. 国語：慣用句 3 | 94. 漢字検定：書き取り 3 |
| 15. 日本史：室町・安土桃山時代 5 | 55. 国語：ことわざ 1 | 95. 漢字検定：書き取り 4 |
| 16. 日本史：江戸時代 (1) 1 | 56. 国語：ことわざ 2 | 96. 漢字検定：総合演習 1 |
| 17. 日本史：江戸時代 (1) 2 | 57. 国語：ことわざ 3 | 97. 漢字検定：総合演習 2 |
| 18. 日本史：江戸時代 (1) 3 | 58. 国語：難読語 1 | 98. 漢字検定：総合演習 3 |
| 19. 日本史：江戸時代 (1) 4 | 59. 国語：難読語 2 | 99. 漢字検定：総合演習 4 |
| 20. 日本史：江戸時代 (1) 5 | 60. 国語：難読語 3 | 100. 漢字検定：総合演習 5 |
| 21. 日本史：江戸時代 (2) 1 | 61. 国語：同音異義語 1 | |
| 22. 日本史：江戸時代 (2) 2 | 62. 国語：同音異義語 2 | |
| 23. 日本史：江戸時代 (2) 3 | 63. 国語：同音異義語 3 | |
| 24. 日本史：江戸時代 (2) 4 | 64. 国語：同訓異義語 1 | |
| 25. 日本史：江戸時代 (2) 5 | 65. 国語：同訓異義語 2 | |
| 26. 日本史：江戸時代 (3)・明治時代 (1) 1 | 66. 国語：同訓異義語 3 | |
| 27. 日本史：江戸時代 (3)・明治時代 (1) 2 | 67. 国語：誤りやすい言葉 1 | |
| 28. 日本史：江戸時代 (3)・明治時代 (1) 3 | 68. 国語：誤りやすい言葉 2 | |
| 29. 日本史：江戸時代 (3)・明治時代 (1) 4 | 69. 国語：誤りやすい言葉 3 | |
| 30. 日本史：江戸時代 (3)・明治時代 (1) 5 | 70. 漢字検定：読み 1 | |
| 31. 日本史：明治時代 (2)・大正時代 (1) 1 | 71. 漢字検定：読み 2 | |
| 32. 日本史：明治時代 (2)・大正時代 (1) 2 | 72. 漢字検定：部首 1 | |
| 33. 日本史：明治時代 (2)・大正時代 (1) 3 | 73. 漢字検定：部首 2 | |
| 34. 日本史：明治時代 (2)・大正時代 (1) 4 | 74. 漢字検定：熟語の構成 1 | |
| 35. 日本史：明治時代 (2)・大正時代 (1) 5 | 75. 漢字検定：熟語の構成 2 | |
| 36. 日本史：大正時代 (2)・昭和時代 (1) 1 | 76. 漢字検定：熟語の構成 3 | |
| 37. 日本史：大正時代 (2)・昭和時代 (1) 2 | 77. 漢字検定：熟語の構成 4 | |
| 38. 日本史：大正時代 (2)・昭和時代 (1) 3 | 78. 漢字検定：四字熟語 1 | |
| 39. 日本史：大正時代 (2)・昭和時代 (1) 4 | 79. 漢字検定：四字熟語 2 | |
| 40. 日本史：大正時代 (2)・昭和時代 (1) 5 | 80. 漢字検定：四字熟語 3 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

日本史・漢字に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学概論ⅡA	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

世界全体を総合的にとらえ、古代・中世・近代（近世）についての歴史の理解を目指す。日本および世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向を、自然環境および社会環境と関連させながら理解することを目指す。世界と日本の文化・芸術および思想等の特色についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 世界史：古代文明 1 | 21. 地理：農業・漁業・林業 1 |
| 2. 世界史：古代文明 2 | 22. 地理：農業・漁業・林業 2 |
| 3. 世界史：東アジア文化圏の形成 1 | 23. 地理：鉱工業・貿易 1 |
| 4. 世界史：東アジア文化圏の形成 2 | 24. 地理：鉱工業・貿易 2 |
| 5. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 1 | 25. 地理：現代世界の地誌的考察（1） 1 |
| 6. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 2 | 26. 地理：現代世界の地誌的考察（1） 2 |
| 7. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 1 | 27. 地理：現代世界の地誌的考察（2） 1 |
| 8. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 2 | 28. 地理：現代世界の地誌的考察（2） 2 |
| 9. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 1 | 29. 哲学思想：世界の思想 1 |
| 10. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 2 | 30. 哲学思想：世界の思想 2 |
| 11. 世界史：市民社会の成立と近代国家 1 | 31. 哲学思想：世界の思想 3 |
| 12. 世界史：市民社会の成立と近代国家 2 | 32. 哲学思想：日本の思想 1 |
| 13. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 1 | 33. 哲学思想：日本の思想 2 |
| 14. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 2 | 34. 哲学思想：日本の思想 3 |
| 15. 世界史：世界大戦前後の世界 1 | 35. 文学芸術：外国の文学・芸術 1 |
| 16. 世界史：世界大戦前後の世界 2 | 36. 文学芸術：外国の文学・芸術 2 |
| 17. 地理：現代世界の地理的考察 1 | 37. 文学芸術：外国の文学・芸術 3 |
| 18. 地理：現代世界の地理的考察 2 | 38. 文学芸術：日本の文学・芸術 1 |
| 19. 地理：地形と気候 1 | 39. 文学芸術：日本の文学・芸術 2 |
| 20. 地理：地形と気候 2 | 40. 文学芸術：日本の文学・芸術 3 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

世界史・地理・哲学思想・文学芸術に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学概論ⅡB	開講年次	1年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

世界全体を総合的にとらえ、古代・中世・近代（近世）についての歴史の理解を目指す。日本および世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向を、自然環境および社会環境と関連させながら理解することを目指す。世界と日本の文化・芸術および思想等の特色についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 世界史：古代文明 1 | 41. 哲学思想：世界の思想 1 |
| 2. 世界史：古代文明 2 | 42. 哲学思想：世界の思想 2 |
| 3. 世界史：東アジア文化圏の形成 1 | 43. 哲学思想：世界の思想 3 |
| 4. 世界史：東アジア文化圏の形成 2 | 44. 哲学思想：世界の思想 4 |
| 5. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 1 | 45. 哲学思想：世界の思想 5 |
| 6. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 2 | 46. 哲学思想：世界の思想 6 |
| 7. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 3 | 47. 哲学思想：世界の思想 7 |
| 8. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 1 | 48. 哲学思想：世界の思想 8 |
| 9. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 2 | 49. 哲学思想：世界の思想 9 |
| 10. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 3 | 50. 哲学思想：世界の思想 10 |
| 11. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 1 | 51. 哲学思想：日本の思想 1 |
| 12. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 2 | 52. 哲学思想：日本の思想 2 |
| 13. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 3 | 53. 哲学思想：日本の思想 3 |
| 14. 世界史：市民社会の成立と近代国家 1 | 54. 哲学思想：日本の思想 4 |
| 15. 世界史：市民社会の成立と近代国家 2 | 55. 哲学思想：日本の思想 5 |
| 16. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 1 | 56. 哲学思想：日本の思想 6 |
| 17. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 2 | 57. 哲学思想：日本の思想 7 |
| 18. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 3 | 58. 哲学思想：日本の思想 8 |
| 19. 世界史：世界大戦前後の世界 1 | 59. 哲学思想：日本の思想 9 |
| 20. 世界史：世界大戦前後の世界 2 | 60. 哲学思想：日本の思想 10 |
| 21. 地理：現代世界の地理的考察 1 | 61. 文学芸術：外国の文学・芸術 1 |
| 22. 地理：現代世界の地理的考察 2 | 62. 文学芸術：外国の文学・芸術 2 |
| 23. 地理：現代世界の地理的考察 3 | 63. 文学芸術：外国の文学・芸術 3 |
| 24. 地理：地形と気候 1 | 64. 文学芸術：外国の文学・芸術 4 |
| 25. 地理：地形と気候 2 | 65. 文学芸術：外国の文学・芸術 5 |
| 26. 地理：地形と気候 3 | 66. 文学芸術：外国の文学・芸術 6 |
| 27. 地理：農業・漁業・林業 1 | 67. 文学芸術：外国の文学・芸術 7 |
| 28. 地理：農業・漁業・林業 2 | 68. 文学芸術：外国の文学・芸術 8 |
| 29. 地理：農業・漁業・林業 3 | 69. 文学芸術：外国の文学・芸術 9 |
| 30. 地理：農業・漁業・林業 4 | 69. 文学芸術：外国の文学・芸術 10 |
| 31. 地理：鉱工業・貿易 1 | 71. 文学芸術：日本の文学・芸術 1 |
| 32. 地理：鉱工業・貿易 2 | 72. 文学芸術：日本の文学・芸術 2 |
| 33. 地理：鉱工業・貿易 3 | 73. 文学芸術：日本の文学・芸術 3 |
| 34. 地理：鉱工業・貿易 4 | 74. 文学芸術：日本の文学・芸術 4 |
| 35. 地理：現代世界の地誌的考察（1） 1 | 75. 文学芸術：日本の文学・芸術 5 |
| 36. 地理：現代世界の地誌的考察（1） 2 | 76. 文学芸術：日本の文学・芸術 6 |
| 37. 地理：現代世界の地誌的考察（1） 3 | 77. 文学芸術：日本の文学・芸術 7 |
| 38. 地理：現代世界の地誌的考察（2） 1 | 78. 文学芸術：日本の文学・芸術 8 |
| 39. 地理：現代世界の地誌的考察（2） 2 | 79. 文学芸術：日本の文学・芸術 9 |
| 40. 地理：現代世界の地誌的考察（2） 3 | 80. 文学芸術：日本の文学・芸術 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

世界史・地理・哲学思想・文学芸術に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学概論 I A	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学の基本概念や原理・法則の理解および事象を数学的に考察し、処理する能力を高めることを目指す。

〔講義・習項目〕

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 数と式 1 | 21. 関数 3 |
| 2. 数と式 2 | 22. 関数 4 |
| 3. 数と式 3 | 23. 関数 5 |
| 4. 数と式 4 | 24. 関数 6 |
| 5. 数と式 5 | 25. 関数 7 |
| 6. 数と式 6 | 26. 関数 8 |
| 7. 方程式 1 | 27. 平面と座標 1 |
| 8. 方程式 2 | 28. 平面と座標 2 |
| 9. 方程式 3 | 29. 平面と座標 3 |
| 10. 方程式 4 | 30. 平面と座標 4 |
| 11. 方程式 5 | 31. 平面と座標 5 |
| 12. 方程式 6 | 32. 平面と座標 6 |
| 13. 不等式 1 | 33. 平面と座標 7 |
| 14. 不等式 2 | 34. 角と三角形 1 |
| 15. 不等式 3 | 35. 角と三角形 2 |
| 16. 不等式 4 | 36. 角と三角形 3 |
| 17. 不等式 5 | 37. 角と三角形 4 |
| 18. 不等式 6 | 38. 角と三角形 5 |
| 19. 関数 1 | 39. 角と三角形 6 |
| 20. 関数 2 | 40. 角と三角形 7 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学概論 I B	開講年次	1 年	授業時数	60	単位数	3
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学の基本概念や原理・法則の理解および事象を数学的に考察し、処理する能力を高めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 数と式 1 | 31. 関数 1 |
| 2. 数と式 2 | 32. 関数 2 |
| 3. 数と式 3 | 33. 関数 3 |
| 4. 数と式 4 | 34. 関数 4 |
| 5. 数と式 5 | 35. 関数 5 |
| 6. 数と式 6 | 36. 関数 6 |
| 7. 数と式 7 | 37. 関数 7 |
| 8. 数と式 8 | 38. 関数 8 |
| 9. 数と式 9 | 39. 関数 9 |
| 10. 数と式 1 0 | 40. 関数 1 0 |
| 11. 方程式 1 | 41. 平面と座標 1 |
| 12. 方程式 2 | 42. 平面と座標 2 |
| 13. 方程式 3 | 43. 平面と座標 3 |
| 14. 方程式 4 | 44. 平面と座標 4 |
| 15. 方程式 5 | 45. 平面と座標 5 |
| 16. 方程式 6 | 46. 平面と座標 6 |
| 17. 方程式 7 | 47. 平面と座標 7 |
| 18. 方程式 8 | 48. 平面と座標 8 |
| 19. 方程式 9 | 49. 平面と座標 9 |
| 20. 方程式 1 0 | 50. 平面と座標 1 0 |
| 21. 不等式 1 | 51. 角と三角形 1 |
| 22. 不等式 2 | 52. 角と三角形 2 |
| 23. 不等式 3 | 53. 角と三角形 3 |
| 24. 不等式 4 | 54. 角と三角形 4 |
| 25. 不等式 5 | 55. 角と三角形 5 |
| 26. 不等式 6 | 56. 角と三角形 6 |
| 27. 不等式 7 | 57. 角と三角形 7 |
| 28. 不等式 8 | 58. 角と三角形 8 |
| 29. 不等式 9 | 59. 角と三角形 9 |
| 30. 不等式 1 0 | 60. 角と三角形 1 0 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学概論ⅡA	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

物理的な事物・現象に関する考え方や、化学的な事物・現象に関する考え方を養い、物理および化学の基本概念についての理解を目指す。

生物・人間および生物現象に関する考え方や、地学的な事物・現象に関する考え方を養い、生物および地学の基本概念についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 物理：力と運動の法則 1 | 31. 化学：有機化合物 1 |
| 2. 物理：力と運動の法則 2 | 32. 化学：有機化合物 2 |
| 3. 物理：力と運動の法則 3 | 33. 化学：有機化合物 3 |
| 4. 物理：物体の運動 1 | 34. 生物：動物の行動・生物の進化 1 |
| 5. 物理：物体の運動 2 | 35. 生物：動物の行動・生物の進化 2 |
| 6. 物理：物体の運動 3 | 36. 生物：動物の行動・生物の進化 3 |
| 7. 物理：エネルギー 1 | 37. 生物：細胞と組織 1 |
| 8. 物理：エネルギー 2 | 38. 生物：細胞と組織 2 |
| 9. 物理：エネルギー 3 | 39. 生物：細胞と組織 3 |
| 10. 物理：波動 1 | 40. 生物：酵素の働き・光合成 1 |
| 11. 物理：波動 2 | 41. 生物：酵素の働き・光合成 2 |
| 12. 物理：波動 3 | 42. 生物：酵素の働き・光合成 3 |
| 13. 物理：電気・磁気 1 | 43. 生物：生物体のつくり 1 |
| 14. 物理：電気・磁気 2 | 44. 生物：生物体のつくり 2 |
| 15. 物理：電気・磁気 3 | 45. 生物：生物体のつくり 3 |
| 16. 化学：物質の構成 1 | 46. 生物：ホルモン・環境と植物 1 |
| 17. 化学：物質の構成 2 | 47. 生物：ホルモン・環境と植物 2 |
| 18. 化学：物質の構成 3 | 48. 生物：ホルモン・環境と植物 3 |
| 19. 化学：物質を構成する粒子 1 | 49. 生物：遺伝 1 |
| 20. 化学：物質を構成する粒子 2 | 50. 生物：遺伝 2 |
| 21. 化学：物質を構成する粒子 3 | 51. 生物：遺伝 3 |
| 22. 化学：物質の変化 1 | 52. 地学：地球の姿・地表の変化 1 |
| 23. 化学：物質の変化 2 | 53. 地学：地球の姿・地表の変化 2 |
| 24. 化学：物質の変化 3 | 54. 地学：地球の姿・地表の変化 3 |
| 25. 化学：イオン化傾向・非金属元素 1 | 55. 地学：地層・地殻・大気・海洋 1 |
| 26. 化学：イオン化傾向・非金属元素 2 | 56. 地学：地層・地殻・大気・海洋 2 |
| 27. 化学：イオン化傾向・非金属元素 3 | 57. 地学：地層・地殻・大気・海洋 3 |
| 28. 化学：金属元素 1 | 58. 地学：宇宙の構成 1 |
| 29. 化学：金属元素 2 | 59. 地学：宇宙の構成 2 |
| 30. 化学：金属元素 3 | 60. 地学：宇宙の構成 3 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

物理・化学・生物・地学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学概論ⅡB	開講年次	1年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

物理的な事物・現象に関する考え方や、化学的な事物・現象に関する考え方を養い、物理および化学の基本概念についての理解を目指す。

生物・人間および生物現象に関する考え方や、地学的な事物・現象に関する考え方を養い、生物および地学の基本概念についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 物理：力と運動の法則 1 | 41. 生物：動物の行動・生物の進化 1 |
| 2. 物理：力と運動の法則 2 | 42. 生物：動物の行動・生物の進化 2 |
| 3. 物理：力と運動の法則 3 | 43. 生物：動物の行動・生物の進化 3 |
| 4. 物理：力と運動の法則 4 | 44. 生物：動物の行動・生物の進化 4 |
| 5. 物理：物体の運動 1 | 45. 生物：細胞と組織 1 |
| 6. 物理：物体の運動 2 | 46. 生物：細胞と組織 2 |
| 7. 物理：物体の運動 3 | 47. 生物：細胞と組織 3 |
| 8. 物理：物体の運動 4 | 48. 生物：細胞と組織 4 |
| 9. 物理：エネルギー 1 | 49. 生物：酵素の働き・光合成 1 |
| 10. 物理：エネルギー 2 | 50. 生物：酵素の働き・光合成 2 |
| 11. 物理：エネルギー 3 | 51. 生物：酵素の働き・光合成 3 |
| 12. 物理：エネルギー 4 | 52. 生物：酵素の働き・光合成 4 |
| 13. 物理：波動 1 | 53. 生物：生物体のつくり 1 |
| 14. 物理：波動 2 | 54. 生物：生物体のつくり 2 |
| 15. 物理：波動 3 | 55. 生物：生物体のつくり 3 |
| 16. 物理：波動 4 | 56. 生物：生物体のつくり 4 |
| 17. 物理：電気・磁気 1 | 57. 生物：ホルモン・環境と植物 1 |
| 18. 物理：電気・磁気 2 | 58. 生物：ホルモン・環境と植物 2 |
| 19. 物理：電気・磁気 3 | 59. 生物：ホルモン・環境と植物 3 |
| 20. 物理：電気・磁気 4 | 60. 生物：ホルモン・環境と植物 4 |
| 21. 化学：物質の構成 1 | 61. 生物：遺伝 1 |
| 22. 化学：物質の構成 2 | 62. 生物：遺伝 2 |
| 23. 化学：物質の構成 3 | 63. 生物：遺伝 3 |
| 24. 化学：物質を構成する粒子 1 | 64. 生物：遺伝 4 |
| 25. 化学：物質を構成する粒子 2 | 65. 地学：地球の姿・地表の変化 1 |
| 26. 化学：物質を構成する粒子 3 | 66. 地学：地球の姿・地表の変化 2 |
| 27. 化学：物質を構成する粒子 4 | 67. 地学：地球の姿・地表の変化 3 |
| 28. 化学：物質の変化 1 | 68. 地学：地球の姿・地表の変化 4 |
| 29. 化学：物質の変化 2 | 69. 地学：地球の姿・地表の変化 5 |
| 30. 化学：物質の変化 3 | 70. 地学：地層・地殻・大気・海洋 1 |
| 31. 化学：物質の変化 4 | 71. 地学：地層・地殻・大気・海洋 2 |
| 32. 化学：イオン化傾向・非金属元素 1 | 72. 地学：地層・地殻・大気・海洋 3 |
| 33. 化学：イオン化傾向・非金属元素 2 | 73. 地学：地層・地殻・大気・海洋 4 |
| 34. 化学：イオン化傾向・非金属元素 3 | 74. 地学：地層・地殻・大気・海洋 5 |
| 35. 化学：金属元素 1 | 75. 地学：地層・地殻・大気・海洋 6 |
| 36. 化学：金属元素 2 | 76. 地学：宇宙の構成 1 |
| 37. 化学：金属元素 3 | 77. 地学：宇宙の構成 2 |
| 38. 化学：有機化合物 1 | 78. 地学：宇宙の構成 3 |
| 39. 化学：有機化合物 2 | 79. 地学：宇宙の構成 4 |
| 40. 化学：有機化合物 3 | 80. 地学：宇宙の構成 5 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

物理・化学・生物・地学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学演習 I A	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および政治・経済・現代社会分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指し、さらに総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. 政治：民主政治の基本原則 1 | 21. 経済：経済のしくみ（2） 3 |
| 2. 政治：民主政治の基本原則 2 | 22. 経済：経済の発展と福祉の向上 1 |
| 3. 政治：民主政治の基本原則 3 | 23. 経済：経済の発展と福祉の向上 2 |
| 4. 政治：日本国憲法の基本的性格 1 | 24. 経済：経済の発展と福祉の向上 3 |
| 5. 政治：日本国憲法の基本的性格 2 | 25. 現代社会に関する問題：現代の経済社会と経済活動 1 |
| 6. 政治：日本国憲法の基本的性格 3 | 26. 現代社会に関する問題：現代の経済社会と経済活動 2 |
| 7. 政治：日本の統治機構 1 | 27. 現代社会に関する問題：現代の経済社会と経済活動 3 |
| 8. 政治：日本の統治機構 2 | 28. 現代社会に関する問題：現代の民主政治 1 |
| 9. 政治：日本の統治機構 3 | 29. 現代社会に関する問題：現代の民主政治 2 |
| 10. 政治：日本の政治の現状と問題 1 | 30. 現代社会に関する問題：現代の民主政治 3 |
| 11. 政治：日本の政治の現状と問題 2 | 31. 現代社会に関する問題：現代社会と私たち 1 |
| 12. 政治：日本の政治の現状と問題 3 | 32. 現代社会に関する問題：現代社会と私たち 2 |
| 13. 政治：国際社会 1 | 33. 現代社会に関する問題：国際社会の動向と日本 1 |
| 14. 政治：国際社会 2 | 34. 現代社会に関する問題：国際社会の動向と日本 2 |
| 15. 政治：国際社会 3 | 35. 憲法：憲法前文～第 103 1 |
| 16. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 1 | 36. 憲法：憲法前文～第 103 2 |
| 17. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 2 | 37. 憲法：憲法前文～第 103 3 |
| 18. 経済：経済体制・経済のしくみ（1） 3 | 38. 憲法：法学概論 1 |
| 19. 経済：経済のしくみ（2） 1 | 39. 憲法：法学概論 2 |
| 20. 経済：経済のしくみ（2） 2 | 40. 憲法：法学概論 3 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治・経済・現代社会・憲法に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学演習 I B	開講年次	2年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および政治・経済・現代社会分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指し、さらに総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 政治：民主政治の基本原則 1 | 41. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 1 |
| 2. 政治：民主政治の基本原則 2 | 42. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 2 |
| 3. 政治：民主政治の基本原則 3 | 43. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 3 |
| 4. 政治：民主政治の基本原則 4 | 44. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 4 |
| 5. 政治：日本国憲法の基本的性格 1 | 45. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 5 |
| 6. 政治：日本国憲法の基本的性格 2 | 46. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 6 |
| 7. 政治：日本国憲法の基本的性格 3 | 47. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 7 |
| 8. 政治：日本国憲法の基本的性格 4 | 48. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 8 |
| 9. 政治：日本の統治機構 1 | 49. 現代社会：現代の民主政治 1 |
| 10. 政治：日本の統治機構 2 | 50. 現代社会：現代の民主政治 2 |
| 11. 政治：日本の統治機構 3 | 51. 現代社会：現代の民主政治 3 |
| 12. 政治：日本の統治機構 4 | 52. 現代社会：現代の民主政治 4 |
| 13. 政治：日本の政治の現状と問題 1 | 53. 現代社会：現代の民主政治 5 |
| 14. 政治：日本の政治の現状と問題 2 | 54. 現代社会：現代の民主政治 6 |
| 15. 政治：日本の政治の現状と問題 3 | 55. 現代社会：現代の民主政治 7 |
| 16. 政治：日本の政治の現状と問題 4 | 56. 現代社会：現代の民主政治 8 |
| 17. 政治：国際社会 1 | 57. 現代社会：現代社会と私たち 1 |
| 18. 政治：国際社会 2 | 58. 現代社会：現代社会と私たち 2 |
| 19. 政治：国際社会 3 | 59. 現代社会：現代社会と私たち 3 |
| 20. 政治：国際社会 4 | 60. 現代社会：現代社会と私たち 4 |
| 21. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 1 | 61. 現代社会：現代社会と私たち 5 |
| 22. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 2 | 62. 現代社会：現代社会と私たち 6 |
| 23. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 3 | 63. 現代社会：現代社会と私たち 7 |
| 24. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 4 | 64. 現代社会：現代社会と私たち 8 |
| 25. 経済：経済のしくみ (2) 1 | 65. 現代社会：国際社会の動向と日本 1 |
| 26. 経済：経済のしくみ (2) 2 | 66. 現代社会：国際社会の動向と日本 2 |
| 27. 経済：経済のしくみ (2) 3 | 67. 現代社会：国際社会の動向と日本 3 |
| 28. 経済：経済のしくみ (2) 4 | 68. 現代社会：国際社会の動向と日本 4 |
| 29. 経済：経済の発展と福祉の向上 1 | 69. 現代社会：国際社会の動向と日本 5 |
| 30. 経済：経済の発展と福祉の向上 2 | 70. 現代社会：国際社会の動向と日本 6 |
| 31. 経済：経済の発展と福祉の向上 3 | 71. 現代社会：国際社会の動向と日本 7 |
| 32. 経済：経済の発展と福祉の向上 4 | 72. 現代社会：国際社会の動向と日本 8 |
| 33. 憲法：憲法前文～第 103 条 1 | 73. 総合演習 1 |
| 34. 憲法：憲法前文～第 103 条 2 | 74. 総合演習 2 |
| 35. 憲法：憲法前文～第 103 条 3 | 75. 総合演習 3 |
| 36. 憲法：憲法前文～第 103 条 4 | 76. 総合演習 4 |
| 37. 憲法：法学概論 1 | 77. 総合演習 5 |
| 38. 憲法：法学概論 2 | 78. 総合演習 6 |
| 39. 憲法：法学概論 3 | 79. 総合演習 7 |
| 40. 憲法：法学概論 4 | 80. 総合演習 8 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治・経済・現代社会・憲法に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学演習 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本史、国語、世界史、地理分野の人文科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 日本史：古代 | 21. 世界史：古代文明 |
| 2. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 | 22. 世界史：東アジア文化圏の形成 |
| 3. 日本史：室町・安土桃山時代 1 | 23. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 1 |
| 4. 日本史：室町・安土桃山時代 2 | 24. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 2 |
| 5. 日本史：江戸時代（1） | 25. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 1 |
| 6. 日本史：江戸時代（2） | 26. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 2 |
| 7. 日本史：江戸時代（3）・明治時代（1） | 27. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 |
| 8. 日本史：明治時代（2）・大正時代（1） | 28. 世界史：市民社会の成立と近代国家 |
| 9. 日本史：大正時代（2）・昭和時代（1） | 29. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 |
| 10. 日本史：昭和時代（2） | 30. 世界史：世界大戦前後の世界 |
| 11. 国語：四字熟語 | 31. 地理：現代世界の地理的考察 1 |
| 12. 国語：故事成語 | 32. 地理：現代世界の地理的考察 2 |
| 13. 国語：慣用句 | 33. 地理：地形と気候 1 |
| 14. 国語：ことわざ | 34. 地理：地形と気候 2 |
| 15. 国語：難読語 | 35. 地理：農業・漁業・林業 1 |
| 16. 国語：同音異義語 1 | 36. 地理：農業・漁業・林業 2 |
| 17. 国語：同音異義語 2 | 37. 地理：鉱工業・貿易 1 |
| 18. 国語：同訓異義語 1 | 38. 地理：鉱工業・貿易 2 |
| 19. 国語：同訓異義語 2 | 39. 地理：現代世界の地誌的考察（1） |
| 20. 国語：誤りやすいことば | 40. 地理：現代世界の地誌的考察（2） |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

日本史・国語・世界史・地理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学演習 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学・物理・化学・生物・地学分野の自然科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 数学：数と式 | 21. 化学：物質を構成する粒子 2 |
| 2. 数学：方程式 | 22. 化学：物質の変化 1 |
| 3. 数学：不等式 | 23. 化学：物質の変化 2 |
| 4. 数学：関数 1 | 24. 化学：イオン化傾向・非金属元素 |
| 5. 数学：関数 2 | 25. 化学：金属元素 |
| 6. 数学：平面と座標 1 | 26. 化学：有機化合物 |
| 7. 数学：平面と座標 2 | 27. 生物：動物の行動・生物の進 |
| 8. 数学：角と三角形 1 | 28. 生物：細胞と組織 |
| 9. 数学：角と三角形 2 | 29. 生物：酵素の働き・光合成 1 |
| 10. 物理：力と運動の法則 1 | 30. 生物：酵素の働き・光合成 2 |
| 11. 物理：力と運動の法則 2 | 31. 生物：生物体のつくり |
| 12. 物理：物体の運動 1 | 32. 生物：ホルモン・環境と植物 1 |
| 13. 物理：物体の運動 2 | 33. 生物：ホルモン・環境と植物 2 |
| 14. 物理：エネルギー | 34. 生物：遺伝 1 |
| 15. 物理：波動 | 35. 生物：遺伝 2 |
| 16. 物理：電気・磁気 1 | 36. 地学：地球の姿・地表の変化 1 |
| 17. 物理：電気・磁気 2 | 37. 地学：地球の姿・地表の変化 2 |
| 18. 化学：物質の構成 1 | 38. 地学：地層・地殻・大気・海洋 1 |
| 19. 化学：物質の構成 2 | 39. 地学：地層・地殻・大気・海洋 2 |
| 20. 化学：物質を構成する粒子 1 | 40. 地学：宇宙の構成 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数学・物理・化学・生物・地学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	現代国語B	開講年次	2年	授業時数	100	単位数	5
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

すべての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使える能力を身につけ、漢字能力検定合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 1. 読み 1 | 41. 送りがな 1 | 81. 同音・同訓異字 6 |
| 2. 読み 2 | 42. 送りがな 2 | 82. 同音・同訓異字 7 |
| 3. 読み 3 | 43. 送りがな 3 | 83. 同音・同訓異字 8 |
| 4. 読み 4 | 44. 送りがな 4 | 84. 同音・同訓異字 9 |
| 5. 読み 5 | 45. 送りがな 5 | 85. 同音・同訓異字 10 |
| 6. 部首 1 | 46. 書き取り 1 | 86. 誤字訂正 6 |
| 7. 部首 2 | 47. 書き取り 2 | 87. 誤字訂正 7 |
| 8. 部首 3 | 48. 書き取り 3 | 88. 誤字訂正 8 |
| 9. 部首 4 | 49. 書き取り 4 | 89. 誤字訂正 9 |
| 10. 部首 5 | 50. 書き取り 5 | 90. 誤字訂正 10 |
| 11. 熟語の構成 1 | 51. 読み 6 | 91. 送りがな 6 |
| 12. 熟語の構成 2 | 52. 読み 7 | 92. 送りがな 7 |
| 13. 熟語の構成 3 | 53. 読み 8 | 93. 送りがな 8 |
| 14. 熟語の構成 4 | 54. 読み 9 | 94. 送りがな 9 |
| 15. 熟語の構成 5 | 55. 読み 10 | 95. 送りがな 10 |
| 16. 四字熟語（書き） 1 | 56. 部首 6 | 96. 書き取り 6 |
| 17. 四字熟語（書き） 2 | 57. 部首 7 | 97. 書き取り 7 |
| 18. 四字熟語（書き） 3 | 58. 部首 8 | 98. 書き取り 8 |
| 19. 四字熟語（書き） 4 | 59. 部首 9 | 99. 書き取り 9 |
| 20. 四字熟語（書き） 5 | 60. 部首 10 | 100. 書き取り 10 |
| 21. 四字熟語（意味） 1 | 61. 熟語の構成 6 | |
| 22. 四字熟語（意味） 2 | 62. 熟語の構成 7 | |
| 23. 四字熟語（意味） 3 | 63. 熟語の構成 8 | |
| 24. 四字熟語（意味） 4 | 64. 熟語の構成 9 | |
| 25. 四字熟語（意味） 5 | 65. 熟語の構成 10 | |
| 26. 対義語・類義語 1 | 66. 四字熟語（書き） 6 | |
| 27. 対義語・類義語 2 | 67. 四字熟語（書き） 7 | |
| 28. 対義語・類義語 3 | 68. 四字熟語（書き） 8 | |
| 29. 対義語・類義語 4 | 69. 四字熟語（書き） 9 | |
| 30. 対義語・類義語 5 | 70. 四字熟語（書き） 10 | |
| 31. 同音・同訓異字 1 | 71. 四字熟語（意味） 6 | |
| 32. 同音・同訓異字 2 | 72. 四字熟語（意味） 7 | |
| 33. 同音・同訓異字 3 | 73. 四字熟語（意味） 8 | |
| 34. 同音・同訓異字 4 | 74. 四字熟語（意味） 9 | |
| 35. 同音・同訓異字 5 | 75. 四字熟語（意味） 10 | |
| 36. 誤字訂正 1 | 76. 対義語・類義語 6 | |
| 37. 誤字訂正 2 | 77. 対義語・類義語 7 | |
| 38. 誤字訂正 3 | 78. 対義語・類義語 8 | |
| 39. 誤字訂正 4 | 79. 対義語・類義語 9 | |
| 40. 誤字訂正 5 | 80. 対義語・類義語 10 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

漢字に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	論作文 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会人としての心構えや社会常識、論理的思考力・判断力・分析力および感受性・表現力の基本を、文章を書くことによって養うことを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 社会人像に関する基本的課題 1 | 21. 社会人像に関する基本的課題 1 1 |
| 2. 社会人像に関する基本的課題 2 | 22. 社会人像に関する基本的課題 1 2 |
| 3. 社会人像に関する基本的課題 3 | 23. 学校生活に関する基本的課題 6 |
| 4. 社会人像に関する基本的課題 4 | 24. 学校生活に関する基本的課題 7 |
| 5. 社会人像に関する基本的課題 5 | 25. 学校生活に関する基本的課題 8 |
| 6. 学校生活に関する基本的課題 1 | 26. 学校生活に関する基本的課題 9 |
| 7. 学校生活に関する基本的課題 2 | 27. 学校生活に関する基本的課題 1 0 |
| 8. 学校生活に関する基本的課題 3 | 28. 学校生活に関する基本的課題 1 1 |
| 9. 学校生活に関する基本的課題 4 | 29. 学校生活に関する基本的課題 1 2 |
| 10. 学校生活に関する基本的課題 5 | 30. 人生観・生き方に関する基本的課題 6 |
| 11. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 | 31. 人生観・生き方に関する基本的課題 7 |
| 12. 人生観・生き方に関する基本的課題 2 | 32. 人生観・生き方に関する基本的課題 8 |
| 13. 人生観・生き方に関する基本的課題 3 | 33. 人生観・生き方に関する基本的課題 9 |
| 14. 人生観・生き方に関する基本的課題 4 | 34. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 0 |
| 15. 人生観・生き方に関する基本的課題 5 | 35. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 1 |
| 16. 社会人像に関する基本的課題 6 | 36. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 2 |
| 17. 社会人像に関する基本的課題 7 | 37. 総合的課題 1 |
| 18. 社会人像に関する基本的課題 8 | 38. 総合的課題 2 |
| 19. 社会人像に関する基本的課題 9 | 39. 総合的課題 3 |
| 20. 社会人像に関する基本的課題 1 0 | 40. 総合的課題 4 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

論作文に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に課する種々のレポート、学期末試験、出席等を総合して判断する。論作文の成果物、レポート等の内容を中心に評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	時事研究 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

最新の国内・外の主要な時事問題について、時事用語の理解に重点をおきながら分析し、理解を深めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 政治・経済分野 1 | 21. 科学・技術分野 1 |
| 2. 政治・経済分野 2 | 22. 科学・技術分野 2 |
| 3. 政治・経済分野 3 | 23. 科学・技術分野 3 |
| 4. 政治・経済分野 4 | 24. 科学・技術分野 4 |
| 5. 政治・経済分野 5 | 25. 科学・技術分野 5 |
| 6. 国際関係分野 1 | 26. 自然・環境分野 1 |
| 7. 国際関係分野 2 | 27. 自然・環境分野 2 |
| 8. 国際関係分野 3 | 28. 自然・環境分野 3 |
| 9. 国際関係分野 4 | 29. 自然・環境分野 4 |
| 10. 国際関係分野 5 | 30. 自然・環境分野 5 |
| 11. 社会・生活分野 1 | 31. 文化・スポーツ分野 1 |
| 12. 社会・生活分野 2 | 32. 文化・スポーツ分野 2 |
| 13. 社会・生活分野 3 | 33. 文化・スポーツ分野 3 |
| 14. 社会・生活分野 4 | 34. 文化・スポーツ分野 4 |
| 15. 社会・生活分野 5 | 35. 文化・スポーツ分野 5 |
| 16. 産業・労働分野 1 | 36. 総合 1 |
| 17. 産業・労働分野 2 | 37. 総合 2 |
| 18. 産業・労働分野 3 | 38. 総合 3 |
| 19. 産業・労働分野 4 | 39. 総合 4 |
| 20. 産業・労働分野 5 | 40. 総合 5 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

時事用語集、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	キャリアデザイン	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会でどのように働き、どのように社会で自立して生きていくのかを考え、キャリアデザインの重要性を理解したうえで、社会で求められる人材であることをきちんと表現することのできる力を養成することを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 自己分析 1 | 21. エントリーシート・履歴書作成 3 |
| 2. 自己分析 2 | 22. エントリーシート・履歴書作成 4 |
| 3. 自己分析 3 | 23. エントリーシート・履歴書作成 5 |
| 4. 自己分析 4 | 24. エントリーシート・履歴書作成 6 |
| 5. 自己分析 5 | 25. 模擬面接 1 |
| 6. 自己分析 6 | 26. 模擬面接 2 |
| 7. 志望動機作成 1 | 27. 模擬面接 3 |
| 8. 志望動機作成 2 | 28. 模擬面接 4 |
| 9. 志望動機作成 3 | 29. 模擬面接 5 |
| 10. 志望動機作成 4 | 30. 模擬面接 6 |
| 11. 志望動機作成 5 | 31. 模擬面接 7 |
| 12. 志望動機作成 6 | 32. 模擬面接 8 |
| 13. 自己PR作成 1 | 33. 模擬面接 9 |
| 14. 自己PR作成 2 | 34. 模擬面接 10 |
| 15. 自己PR作成 3 | 35. 模擬面接 11 |
| 16. 自己PR作成 4 | 36. 模擬面接 12 |
| 17. 自己PR作成 5 | 37. 模擬面接 13 |
| 18. 自己PR作成 6 | 38. 模擬面接 14 |
| 19. エントリーシート・履歴書作成 1 | 39. 模擬面接 15 |
| 20. エントリーシート・履歴書作成 2 | 40. 模擬面接 16 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

履歴書の作成や面接対策に関する資料及び官公庁・企業のホームページ並びに資料

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、出席状況、作成したエントリーシートや履歴書の内容等並びに模擬面接での受け答えを総合評価する。

科目名	就職セミナー I	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 （企業の新入職員研修を実施している企業担当者でありキャリア アディベロップメントアドバイザー） 〔担当教員紹介〕 担当教員は、ビジネスマナー、特に接客等の技術を専門的にレ クチャーする会社の社員であり、接客等の実務経験に基づいてビ ジネスマナー向上のための授業を展開する。																								
〔講義主要目標及び講義概要〕 卒業後の進路選択を考える前段階として、日々の学生生活を有意義なものとする意識の高揚を目指 す。特に、社会人として必要とされる基本的なものの見方や考え方・行動の仕方について理解を深め、 礼儀・マナーの修得、面接練習等を重視する。																											
〔講義・演習項目〕 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 職業についての考え方</td> <td>11. 礼儀・マナーの知識</td> </tr> <tr> <td>2. 職業についての考え方</td> <td>12. 礼儀・マナーの知識</td> </tr> <tr> <td>3. 就職を取り巻く社会状況の分析</td> <td>13. 敬語表現</td> </tr> <tr> <td>4. 就職を取り巻く社会状況の分析</td> <td>14. 敬語表現</td> </tr> <tr> <td>5. 就職活動の予備知識</td> <td>15. ビデオ等による事例研究</td> </tr> <tr> <td>6. 就職活動の予備知識</td> <td>16. ビデオ等による事例研究</td> </tr> <tr> <td>7. 官公庁研究及び企業研究の方法</td> <td>17. 面接練習</td> </tr> <tr> <td>8. 官公庁研究及び企業研究の方法</td> <td>18. 面接練習</td> </tr> <tr> <td>9. 自己分析の仕方</td> <td>19. 面接練習</td> </tr> <tr> <td>10. 自己分析の仕方</td> <td>20. 面接練習</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 職業についての考え方	11. 礼儀・マナーの知識	2. 職業についての考え方	12. 礼儀・マナーの知識	3. 就職を取り巻く社会状況の分析	13. 敬語表現	4. 就職を取り巻く社会状況の分析	14. 敬語表現	5. 就職活動の予備知識	15. ビデオ等による事例研究	6. 就職活動の予備知識	16. ビデオ等による事例研究	7. 官公庁研究及び企業研究の方法	17. 面接練習	8. 官公庁研究及び企業研究の方法	18. 面接練習	9. 自己分析の仕方	19. 面接練習	10. 自己分析の仕方	20. 面接練習
1. 職業についての考え方	11. 礼儀・マナーの知識																										
2. 職業についての考え方	12. 礼儀・マナーの知識																										
3. 就職を取り巻く社会状況の分析	13. 敬語表現																										
4. 就職を取り巻く社会状況の分析	14. 敬語表現																										
5. 就職活動の予備知識	15. ビデオ等による事例研究																										
6. 就職活動の予備知識	16. ビデオ等による事例研究																										
7. 官公庁研究及び企業研究の方法	17. 面接練習																										
8. 官公庁研究及び企業研究の方法	18. 面接練習																										
9. 自己分析の仕方	19. 面接練習																										
10. 自己分析の仕方	20. 面接練習																										
〔テキスト〕 種々のプリント、ビデオ等を中心とする。																											
〔成績評価〕 セミナーへの取り組み状況、レポートの内容により評価する。																											

科目名	職業実務 I A	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1																				
		種 類	専門科目	分 類	必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役自衛官) [担当教員紹介] 担当教員は、京都地方協力本部地区隊長であり、広報として 様々な学生指導経験がある。また、実務経験に基づいて実践的な 授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 将来的に公務員として働くために実践的な訓練をフィールドワークで学ぶ。また、職種や組織を理解することで社会人になるにあたっての職業知識を深め公務員としての心構えを身につける。																											
[講義・演習項目] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 施設見学 1</td> <td>11. 組織の概要 1</td> </tr> <tr> <td>2. 施設見学 2</td> <td>12. 組織の概要 2</td> </tr> <tr> <td>3. 施設見学 3</td> <td>13. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 1</td> </tr> <tr> <td>4. フィールドワーク 1</td> <td>14. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 2</td> </tr> <tr> <td>5. フィールドワーク 2</td> <td>15. さまざまな職種 (海上自衛隊) 1</td> </tr> <tr> <td>6. フィールドワーク 3</td> <td>16. さまざまな職種 (海上自衛隊) 2</td> </tr> <tr> <td>7. フィールドワーク 4</td> <td>17. さまざまな職種 (航空自衛隊) 1</td> </tr> <tr> <td>8. フィールドワーク 5</td> <td>18. さまざまな職種 (航空自衛隊) 2</td> </tr> <tr> <td>9. フィールドワーク 6</td> <td>19. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>10. フィールドワーク 7</td> <td>20. グループワーク 2</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 施設見学 1	11. 組織の概要 1	2. 施設見学 2	12. 組織の概要 2	3. 施設見学 3	13. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 1	4. フィールドワーク 1	14. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 2	5. フィールドワーク 2	15. さまざまな職種 (海上自衛隊) 1	6. フィールドワーク 3	16. さまざまな職種 (海上自衛隊) 2	7. フィールドワーク 4	17. さまざまな職種 (航空自衛隊) 1	8. フィールドワーク 5	18. さまざまな職種 (航空自衛隊) 2	9. フィールドワーク 6	19. グループワーク 1	10. フィールドワーク 7	20. グループワーク 2
1. 施設見学 1	11. 組織の概要 1																										
2. 施設見学 2	12. 組織の概要 2																										
3. 施設見学 3	13. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 1																										
4. フィールドワーク 1	14. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 2																										
5. フィールドワーク 2	15. さまざまな職種 (海上自衛隊) 1																										
6. フィールドワーク 3	16. さまざまな職種 (海上自衛隊) 2																										
7. フィールドワーク 4	17. さまざまな職種 (航空自衛隊) 1																										
8. フィールドワーク 5	18. さまざまな職種 (航空自衛隊) 2																										
9. フィールドワーク 6	19. グループワーク 1																										
10. フィールドワーク 7	20. グループワーク 2																										
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	職業実務ⅡA	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役自衛官) [担当教員紹介] 担当教員は、実務経験に基づいて部隊での研修や実績を有した方々でありそれぞれの専門知識を生かした実践的な授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 就職を目前に控え公務員として有事の際の活動の一環として、災害時の活動を学び実際に演習を通じて必要性和重要性を理解しスキルの習得を行う。																											
[講義・演習項目] <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 災害時における活動内容 1</td> <td style="width: 50%;">11. 救護方法演習 (骨折) 3</td> </tr> <tr> <td>2. 災害時における活動内容 2</td> <td>12. 救護方法演習 (骨折) 4</td> </tr> <tr> <td>3. 災害時における活動内容 3</td> <td>13. 救護方法演習 (搬送方法) 1</td> </tr> <tr> <td>4. 災害時における活動内容 4</td> <td>14. 救護方法演習 (搬送方法) 2</td> </tr> <tr> <td>5. 救護方法演習 (止血) 1</td> <td>15. 救護方法演習 (搬送方法) 3</td> </tr> <tr> <td>6. 救護方法演習 (止血) 2</td> <td>16. 救護方法演習 (搬送方法) 4</td> </tr> <tr> <td>7. 救護方法演習 (止血) 3</td> <td>17. レポート作成 1</td> </tr> <tr> <td>8. 救護方法演習 (止血) 4</td> <td>18. レポート作成 2</td> </tr> <tr> <td>9. 救護方法演習 (骨折) 1</td> <td>19. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>10. 救護方法演習 (骨折) 2</td> <td>20. グループワーク 2</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 災害時における活動内容 1	11. 救護方法演習 (骨折) 3	2. 災害時における活動内容 2	12. 救護方法演習 (骨折) 4	3. 災害時における活動内容 3	13. 救護方法演習 (搬送方法) 1	4. 災害時における活動内容 4	14. 救護方法演習 (搬送方法) 2	5. 救護方法演習 (止血) 1	15. 救護方法演習 (搬送方法) 3	6. 救護方法演習 (止血) 2	16. 救護方法演習 (搬送方法) 4	7. 救護方法演習 (止血) 3	17. レポート作成 1	8. 救護方法演習 (止血) 4	18. レポート作成 2	9. 救護方法演習 (骨折) 1	19. グループワーク 1	10. 救護方法演習 (骨折) 2	20. グループワーク 2
1. 災害時における活動内容 1	11. 救護方法演習 (骨折) 3																										
2. 災害時における活動内容 2	12. 救護方法演習 (骨折) 4																										
3. 災害時における活動内容 3	13. 救護方法演習 (搬送方法) 1																										
4. 災害時における活動内容 4	14. 救護方法演習 (搬送方法) 2																										
5. 救護方法演習 (止血) 1	15. 救護方法演習 (搬送方法) 3																										
6. 救護方法演習 (止血) 2	16. 救護方法演習 (搬送方法) 4																										
7. 救護方法演習 (止血) 3	17. レポート作成 1																										
8. 救護方法演習 (止血) 4	18. レポート作成 2																										
9. 救護方法演習 (骨折) 1	19. グループワーク 1																										
10. 救護方法演習 (骨折) 2	20. グループワーク 2																										
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	職業実務ⅡB	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役司法書士) [担当教員紹介] 担当教員は司法書士であり、法律に基づいてコンプライアンスに関する不祥事や問題点を自身の身を守る形で授業を展開する。また民間企業や個人の不祥事を身近に捉えることで生活に関するコンプライアンスを習得する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 法令遵守のみならず、社会的ニーズへの対応の仕方を、実例を踏まえて修得する。近い将来、学生たちが社会で活躍する上で、基本的なコンプライアンス意識が醸成されたレベルを兼ね備えて送り出せるようにしたい。																											
[講義・演習項目] <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">1. コンプライアンスの必要性</td> <td style="width:50%;">11. 事例研究 (不適切動画) 2</td> </tr> <tr> <td>2. 悪質商法 1</td> <td>12. 事例研究 (不適切動画) 3</td> </tr> <tr> <td>3. 悪質商法 2</td> <td>13. 事例研究 (公文書廃棄) 1</td> </tr> <tr> <td>4. 悪質商法 3</td> <td>14. 事例研究 (公文書廃棄) 2</td> </tr> <tr> <td>5. 公務員の不祥事 1</td> <td>15. 事例研究 (公文書廃棄) 3</td> </tr> <tr> <td>6. 公務員の不祥事 2</td> <td>16. 気をつけたいコンプライアンス違反 1</td> </tr> <tr> <td>7. 公務員の不祥事 3</td> <td>17. 気をつけたいコンプライアンス違反 2</td> </tr> <tr> <td>8. 公務員の不祥事 4</td> <td>18. 気をつけたいコンプライアンス違反 3</td> </tr> <tr> <td>9. コンプライアンスが求められる理由</td> <td>19. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>10. 事例研究 (不適切動画) 1</td> <td>20. グループワーク 2</td> </tr> </table> <p style="text-align:right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. コンプライアンスの必要性	11. 事例研究 (不適切動画) 2	2. 悪質商法 1	12. 事例研究 (不適切動画) 3	3. 悪質商法 2	13. 事例研究 (公文書廃棄) 1	4. 悪質商法 3	14. 事例研究 (公文書廃棄) 2	5. 公務員の不祥事 1	15. 事例研究 (公文書廃棄) 3	6. 公務員の不祥事 2	16. 気をつけたいコンプライアンス違反 1	7. 公務員の不祥事 3	17. 気をつけたいコンプライアンス違反 2	8. 公務員の不祥事 4	18. 気をつけたいコンプライアンス違反 3	9. コンプライアンスが求められる理由	19. グループワーク 1	10. 事例研究 (不適切動画) 1	20. グループワーク 2
1. コンプライアンスの必要性	11. 事例研究 (不適切動画) 2																										
2. 悪質商法 1	12. 事例研究 (不適切動画) 3																										
3. 悪質商法 2	13. 事例研究 (公文書廃棄) 1																										
4. 悪質商法 3	14. 事例研究 (公文書廃棄) 2																										
5. 公務員の不祥事 1	15. 事例研究 (公文書廃棄) 3																										
6. 公務員の不祥事 2	16. 気をつけたいコンプライアンス違反 1																										
7. 公務員の不祥事 3	17. 気をつけたいコンプライアンス違反 2																										
8. 公務員の不祥事 4	18. 気をつけたいコンプライアンス違反 3																										
9. コンプライアンスが求められる理由	19. グループワーク 1																										
10. 事例研究 (不適切動画) 1	20. グループワーク 2																										
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	職業実務 I B	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1		
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習		
		担当教員	実務経験のある教員 (現役京都地方検察庁職員)、(現役大阪税関職員)、(現役消防官) [担当教員紹介] 担当教員の一人は、現役京都地方検察庁職員であり庁舎訪問を通じて仕事のイメージを具体化する授業を展開する。 担当教員のもう一人は、現役大阪税関職員であり公務の内容を実技で学ぶ授業を展開する。 担当教員のもう一人は、現役消防官であり管轄内の消防施設や業務紹介を質疑応答形式で行う。また、消防団活動の意義を伝えて学生の間から消防に携わる大切さを伝える形で授業を展開する。						
[講義主要目標及び講義概要] 国家公務員の事務職の仕事内容をフィールドワークで学ぶ。また、地方公務員の公安職の仕事内容を理解することで学生が目指す公務員像を具体的にしていく。									
[講義・演習項目] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 検察庁の仕事 1 2. 検察庁の仕事 2 3. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 1 4. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 2 5. 施設見学 1 6. 施設見学 2 7. 施設見学 3 8. レポート作成 9. 税関業務 10. 実務に携わる卒業生とのディスカッション </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 11. 麻薬探知犬によるトレーニング 12. レポート作成 13. 京都市消防局の活動内容 1 14. 京都市消防局の活動内容 2 15. 消防士の仕事 1 16. 消防士の仕事 2 17. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 18. 消防団の活動内容 19. レポート作成 20. グループワーク </td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 検察庁の仕事 1 2. 検察庁の仕事 2 3. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 1 4. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 2 5. 施設見学 1 6. 施設見学 2 7. 施設見学 3 8. レポート作成 9. 税関業務 10. 実務に携わる卒業生とのディスカッション	11. 麻薬探知犬によるトレーニング 12. レポート作成 13. 京都市消防局の活動内容 1 14. 京都市消防局の活動内容 2 15. 消防士の仕事 1 16. 消防士の仕事 2 17. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 18. 消防団の活動内容 19. レポート作成 20. グループワーク
1. 検察庁の仕事 1 2. 検察庁の仕事 2 3. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 1 4. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 2 5. 施設見学 1 6. 施設見学 2 7. 施設見学 3 8. レポート作成 9. 税関業務 10. 実務に携わる卒業生とのディスカッション	11. 麻薬探知犬によるトレーニング 12. レポート作成 13. 京都市消防局の活動内容 1 14. 京都市消防局の活動内容 2 15. 消防士の仕事 1 16. 消防士の仕事 2 17. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 18. 消防団の活動内容 19. レポート作成 20. グループワーク								
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。									
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。									

科目名	職業実務 I C	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1																				
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役日本年金機構職員)、(現役近畿財務局職員) [担当教員紹介] 担当教員の一人は、現役日本年金機構職員であり公的年金の仕組みや20歳になってからの手続きを中心に授業を展開する。 担当教員のもう一人は、現役近畿財務局職員であり実際の公務内容を学ぶ。また、グループワークを通じて国家予算作成およびプレゼンテーションで多角的な考察を深める授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 社会保険、年金や税金の種類および国家予算については社会人として知っておかなければならない事柄であるが、学生のうちにそれを学ぶ機会はほとんどない。そこで、それぞれの実務に精通した担当講師が、実例に基づいてわかりやすく解説をし、それらの必要性・重要性を理解し、社会に出て困らないような知識を修得する。																											
[講義・演習項目] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 公的年金制度 1</td> <td style="width: 50%;">11. 日本の財政 1</td> </tr> <tr> <td>2. 公的年金制度 2</td> <td>12. 日本の財政 2</td> </tr> <tr> <td>3. 公的年金の種類 1</td> <td>13. 財政を支える税金 1</td> </tr> <tr> <td>4. 公的年金の種類 2</td> <td>14. 財政を支える税金 2</td> </tr> <tr> <td>5. 保険料の納め方</td> <td>15. 国の借金</td> </tr> <tr> <td>6. 免除制度</td> <td>16. 財政のバランス</td> </tr> <tr> <td>7. 公的年金の疑問 (質疑応答) 1</td> <td>17. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>8. 公的年金の疑問 (質疑応答) 2</td> <td>18. グループワーク 2</td> </tr> <tr> <td>9. グループワーク</td> <td>19. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>10. レポート作成</td> <td>20. レポート作成</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 公的年金制度 1	11. 日本の財政 1	2. 公的年金制度 2	12. 日本の財政 2	3. 公的年金の種類 1	13. 財政を支える税金 1	4. 公的年金の種類 2	14. 財政を支える税金 2	5. 保険料の納め方	15. 国の借金	6. 免除制度	16. 財政のバランス	7. 公的年金の疑問 (質疑応答) 1	17. グループワーク 1	8. 公的年金の疑問 (質疑応答) 2	18. グループワーク 2	9. グループワーク	19. プレゼンテーション	10. レポート作成	20. レポート作成
1. 公的年金制度 1	11. 日本の財政 1																										
2. 公的年金制度 2	12. 日本の財政 2																										
3. 公的年金の種類 1	13. 財政を支える税金 1																										
4. 公的年金の種類 2	14. 財政を支える税金 2																										
5. 保険料の納め方	15. 国の借金																										
6. 免除制度	16. 財政のバランス																										
7. 公的年金の疑問 (質疑応答) 1	17. グループワーク 1																										
8. 公的年金の疑問 (質疑応答) 2	18. グループワーク 2																										
9. グループワーク	19. プレゼンテーション																										
10. レポート作成	20. レポート作成																										
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	職業実務 I D	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1		
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習		
		担当教員	実務経験のある教員 (現役日本漢字能力検定協会職員) [担当教員紹介] 担当教員は日本漢字能力検定協会の職員であり、就職活動において必要な自己PRのポイントを押さえながら、実際に作成する授業を展開する。						
[講義主要目標及び講義概要] 自分の体験を通じて最もアピールできるところを見つけ出し、文章構成を考えながら自己PRの完成を目指す。									
[講義・演習項目] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 自己PRを書くコツとは 2. 自己PRは何を書くのか 3. そもそも自己PRとは何か 4. 伝わりやすい「自己PR」とは何か1 5. 伝わりやすい「自己PR」とは何か2 6. 伝わりやすい「自己PR」とは何か3 7. だれでも書ける自己PRステップ1 8. だれでも書ける自己PRステップ1実践 9. だれでも書ける自己PRステップ2 10. だれでも書ける自己PRステップ2実践 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 11. だれでも書ける自己PRステップ3 12. だれでも書ける自己PRステップ3実践 13. だれでも書ける自己PRステップ4 14. だれでも書ける自己PRステップ4実践 15. だれでも書ける自己PRステップ5 16. だれでも書ける自己PRステップ5実践 17. 自己PR作成1 18. 自己PR作成2 19. 自己PR作成3 20. レポート作成 </td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 自己PRを書くコツとは 2. 自己PRは何を書くのか 3. そもそも自己PRとは何か 4. 伝わりやすい「自己PR」とは何か1 5. 伝わりやすい「自己PR」とは何か2 6. 伝わりやすい「自己PR」とは何か3 7. だれでも書ける自己PRステップ1 8. だれでも書ける自己PRステップ1実践 9. だれでも書ける自己PRステップ2 10. だれでも書ける自己PRステップ2実践	11. だれでも書ける自己PRステップ3 12. だれでも書ける自己PRステップ3実践 13. だれでも書ける自己PRステップ4 14. だれでも書ける自己PRステップ4実践 15. だれでも書ける自己PRステップ5 16. だれでも書ける自己PRステップ5実践 17. 自己PR作成1 18. 自己PR作成2 19. 自己PR作成3 20. レポート作成
1. 自己PRを書くコツとは 2. 自己PRは何を書くのか 3. そもそも自己PRとは何か 4. 伝わりやすい「自己PR」とは何か1 5. 伝わりやすい「自己PR」とは何か2 6. 伝わりやすい「自己PR」とは何か3 7. だれでも書ける自己PRステップ1 8. だれでも書ける自己PRステップ1実践 9. だれでも書ける自己PRステップ2 10. だれでも書ける自己PRステップ2実践	11. だれでも書ける自己PRステップ3 12. だれでも書ける自己PRステップ3実践 13. だれでも書ける自己PRステップ4 14. だれでも書ける自己PRステップ4実践 15. だれでも書ける自己PRステップ5 16. だれでも書ける自己PRステップ5実践 17. 自己PR作成1 18. 自己PR作成2 19. 自己PR作成3 20. レポート作成								
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。									
[成績評価] ワークシート作成等授業への取り組み状況、レポートおよびその内容、確認テストの点数を総合評価する。									

科目名	職業実務ⅡC	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役日本年金機構職員)、(現役京都銀行協会職員) [担当教員紹介] 担当教員の一人は、現役日本年金機構職員であり公的年金の仕組みや20歳になってからの手続きを復習しながら老齢年金と障害年金を中心に授業を展開する。 担当教員のもう一人は、現役京都銀行協会職員であり実際に多重債務者にならないようにメカニズムを修得する。また、グループワークを通じて啓発ポスターの作成やプレゼンテーションで多角的な考察を深める授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 卒業後の人生においてお金にまつわる諸問題と、それに関わる犯罪についても学ぶ。また、将来に渡ってどのように自身とお金に関わっていくかを修得する。																											
[講義・演習項目] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 公的年金制度の復習 1</td> <td style="width: 50%;">11. 多重債務とは 1</td> </tr> <tr> <td>2. 公的年金制度の復習 2</td> <td>12. 多重債務とは 2</td> </tr> <tr> <td>3. 老齢年金の仕組み 1</td> <td>13. 多重債務のメカニズム 1</td> </tr> <tr> <td>4. 老齢年金の仕組み 2</td> <td>14. 多重債務のメカニズム 2</td> </tr> <tr> <td>5. 老齢年金の計算</td> <td>15. 多重債務の実例</td> </tr> <tr> <td>6. 障害年金の仕組み 1</td> <td>16. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>7. 障害年金の仕組み 2</td> <td>17. グループワーク 2</td> </tr> <tr> <td>8. 障害年金の計算</td> <td>18. プレゼンテーション 1</td> </tr> <tr> <td>9. グループワーク</td> <td>19. プレゼンテーション 2</td> </tr> <tr> <td>10. レポート作成</td> <td>20. レポート作成</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 公的年金制度の復習 1	11. 多重債務とは 1	2. 公的年金制度の復習 2	12. 多重債務とは 2	3. 老齢年金の仕組み 1	13. 多重債務のメカニズム 1	4. 老齢年金の仕組み 2	14. 多重債務のメカニズム 2	5. 老齢年金の計算	15. 多重債務の実例	6. 障害年金の仕組み 1	16. グループワーク 1	7. 障害年金の仕組み 2	17. グループワーク 2	8. 障害年金の計算	18. プレゼンテーション 1	9. グループワーク	19. プレゼンテーション 2	10. レポート作成	20. レポート作成
1. 公的年金制度の復習 1	11. 多重債務とは 1																										
2. 公的年金制度の復習 2	12. 多重債務とは 2																										
3. 老齢年金の仕組み 1	13. 多重債務のメカニズム 1																										
4. 老齢年金の仕組み 2	14. 多重債務のメカニズム 2																										
5. 老齢年金の計算	15. 多重債務の実例																										
6. 障害年金の仕組み 1	16. グループワーク 1																										
7. 障害年金の仕組み 2	17. グループワーク 2																										
8. 障害年金の計算	18. プレゼンテーション 1																										
9. グループワーク	19. プレゼンテーション 2																										
10. レポート作成	20. レポート作成																										
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	職業実務ⅡD	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役京都市地域リハビリテーション推進センター職員) (企業や官公庁の職員研修を実施しているマナー研修会社の代表取締役) [担当教員紹介] 担当教員の一人は、現役京都市地域リハビリテーション推進センター職員である。身体障がいの特性や配慮について実務経験を中心に授業を展開する。 担当教員のもう一人は、ビジネスマナー、特に接客等の技術を専門的にレクチャーする会社の社員であり、接客等の実務経験に基づいてビジネスマナーやクレーム対応の授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 社会人になるにあたって、さまざまな特性を持った方々との接し方やビジネスマナー、クレーム対応をはじめとして、職員としての即戦力になるために必要なことについて実習を通して学ぶ。																											
[講義・演習項目] <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 身体障がい</td> <td style="width: 50%;">11. オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2. 肢体不自由の特性 1</td> <td>12. ビジネスマナーの基礎</td> </tr> <tr> <td>3. 肢体不自由の特性 2</td> <td>13. クレームとは</td> </tr> <tr> <td>4. 肢体不自由の配慮 1</td> <td>14. クレーム対応の基本 1</td> </tr> <tr> <td>5. 肢体不自由の配慮 2</td> <td>15. クレーム対応の基本 2</td> </tr> <tr> <td>6. その他の障がい 1</td> <td>16. 事例研究 1</td> </tr> <tr> <td>7. その他の障がい 2</td> <td>17. 事例研究 2</td> </tr> <tr> <td>8. 対応方法</td> <td>18. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>9. グループワーク</td> <td>19. グループワーク 2</td> </tr> <tr> <td>10. レポート作成</td> <td>20. レポート作成</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 身体障がい	11. オリエンテーション	2. 肢体不自由の特性 1	12. ビジネスマナーの基礎	3. 肢体不自由の特性 2	13. クレームとは	4. 肢体不自由の配慮 1	14. クレーム対応の基本 1	5. 肢体不自由の配慮 2	15. クレーム対応の基本 2	6. その他の障がい 1	16. 事例研究 1	7. その他の障がい 2	17. 事例研究 2	8. 対応方法	18. グループワーク 1	9. グループワーク	19. グループワーク 2	10. レポート作成	20. レポート作成
1. 身体障がい	11. オリエンテーション																										
2. 肢体不自由の特性 1	12. ビジネスマナーの基礎																										
3. 肢体不自由の特性 2	13. クレームとは																										
4. 肢体不自由の配慮 1	14. クレーム対応の基本 1																										
5. 肢体不自由の配慮 2	15. クレーム対応の基本 2																										
6. その他の障がい 1	16. 事例研究 1																										
7. その他の障がい 2	17. 事例研究 2																										
8. 対応方法	18. グループワーク 1																										
9. グループワーク	19. グループワーク 2																										
10. レポート作成	20. レポート作成																										
[テキスト] 企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	数的推理 I	開講年次	1 年	授業時数	80	単位数	4
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 1 | 41. 数的推理：損益算 4 |
| 2. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 2 | 42. 数的推理：損益算 5 |
| 3. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 3 | 43. 数的推理：損益算 6 |
| 4. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 4 | 44. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 1 |
| 5. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 5 | 45. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 2 |
| 6. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 6 | 46. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 3 |
| 7. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 1 | 47. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 4 |
| 8. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 2 | 48. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 5 |
| 9. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 3 | 49. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 6 |
| 10. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 4 | 50. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 1 |
| 11. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 5 | 51. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 2 |
| 12. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 6 | 52. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 3 |
| 13. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 1 | 53. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 4 |
| 14. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 2 | 54. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 5 |
| 15. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 3 | 55. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 6 |
| 16. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 4 | 56. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 1 |
| 17. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 5 | 57. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 2 |
| 18. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 6 | 58. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 3 |
| 19. 数的推理：数 1 | 59. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 4 |
| 20. 数的推理：数 2 | 60. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 5 |
| 21. 数的推理：数 3 | 61. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 6 |
| 22. 数的推理：数 4 | 62. 数的推理：仕事算 (1)・(2)・(4) 1 |
| 23. 数的推理：数 5 | 63. 数的推理：仕事算 (1)・(2)・(4) 2 |
| 24. 数的推理：数 6 | 64. 数的推理：仕事算 (1)・(2)・(4) 3 |
| 25. 数的推理：数列 1 | 65. 数的推理：仕事算 (1)・(2)・(4) 4 |
| 26. 数的推理：数列 2 | 66. 数的推理：仕事算 (1)・(2)・(4) 5 |
| 27. 数的推理：数列 3 | 67. 数的推理：仕事算 (3) 1 |
| 28. 数的推理：数列 4 | 68. 数的推理：仕事算 (3) 2 |
| 29. 数的推理：魔法陣 1 | 69. 数的推理：仕事算 (3) 3 |
| 30. 数的推理：魔法陣 2 | 70. 数的推理：仕事算 (3) 4 |
| 31. 数的推理：魔法陣 3 | 71. 数的推理：総合演習 1 |
| 32. 数的推理：覆面算・虫食算 1 | 72. 数的推理：総合演習 2 |
| 33. 数的推理：覆面算・虫食算 2 | 73. 数的推理：総合演習 3 |
| 34. 数的推理：覆面算・虫食算 3 | 74. 数的推理：総合演習 4 |
| 35. 数的推理：比・割合 1 | 75. 数的推理：総合演習 5 |
| 36. 数的推理：比・割合 2 | 76. 数的推理：総合演習 6 |
| 37. 数的推理：比・割合 3 | 77. 数的推理：総合演習 7 |
| 38. 数的推理：損益算 1 | 78. 数的推理：総合演習 8 |
| 39. 数的推理：損益算 2 | 79. 数的推理：総合演習 9 |
| 40. 数的推理：損益算 3 | 80. 数的推理：総合演習 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	数的推理Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 数的推理：場合の数 1 | 31. 数的推理：円 1 |
| 2. 数的推理：場合の数 2 | 32. 数的推理：円 2 |
| 3. 数的推理：場合の数 3 | 33. 数的推理：円 3 |
| 4. 数的推理：場合の数 4 | 34. 数的推理：円 4 |
| 5. 数的推理：場合の数 5 | 35. 数的推理：空間図形 1 |
| 6. 数的推理：場合の数 6 | 36. 数的推理：空間図形 2 |
| 7. 数的推理：確率 1 | 37. 数的推理：空間図形 3 |
| 8. 数的推理：確率 2 | 38. 数的推理：空間図形 4 |
| 9. 数的推理：確率 3 | 39. 数的推理：空間図形 5 |
| 10. 数的推理：確率 4 | 40. 数的推理：空間図形 6 |
| 11. 数的推理：確率 5 | 41. 数的推理：空間図形 7 |
| 12. 数的推理：確率 6 | 42. 数的推理：総合演習 1 |
| 13. 数的推理：測量 1 | 43. 数的推理：総合演習 2 |
| 14. 数的推理：測量 2 | 44. 数的推理：総合演習 3 |
| 15. 数的推理：測量 3 | 45. 数的推理：総合演習 4 |
| 16. 数的推理：測量 4 | 46. 数的推理：総合演習 5 |
| 17. 数的推理：暦 1 | 47. 数的推理：総合演習 6 |
| 18. 数的推理：暦 2 | 48. 数的推理：総合演習 7 |
| 19. 数的推理：暦 3 | 49. 数的推理：総合演習 8 |
| 20. 数的推理：図形の基礎 1 | 50. 数的推理：総合演習 9 |
| 21. 数的推理：図形の基礎 2 | 51. 数的推理：総合演習 1 0 |
| 22. 数的推理：図形の基礎 3 | 52. 数的推理：総合演習 1 1 |
| 23. 数的推理：図形の基礎 4 | 53. 数的推理：総合演習 1 2 |
| 24. 数的推理：三角形 1 | 54. 数的推理：総合演習 1 3 |
| 25. 数的推理：三角形 2 | 55. 数的推理：総合演習 1 4 |
| 26. 数的推理：三角形 3 | 56. 数的推理：総合演習 1 5 |
| 27. 数的推理：四角形・多角形 1 | 57. 数的推理：総合演習 1 6 |
| 28. 数的推理：四角形・多角形 2 | 58. 数的推理：総合演習 1 7 |
| 29. 数的推理：四角形・多角形 3 | 59. 数的推理：総合演習 1 8 |
| 30. 数的推理：四角形・多角形 4 | 60. 数的推理：総合演習 1 9 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理 I	開講年次	1 年	授業時数	80	単位数	4
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 判断推理：集合 1 | 41. 判断推理：数量推理 1 |
| 2. 判断推理：集合 2 | 42. 判断推理：数量推理 2 |
| 3. 判断推理：集合 3 | 43. 判断推理：数量推理 3 |
| 4. 判断推理：集合 4 | 44. 判断推理：数量推理 4 |
| 5. 判断推理：集合 5 | 45. 判断推理：数量推理 5 |
| 6. 判断推理：論理命題 1 | 46. 判断推理：手順 1 |
| 7. 判断推理：論理命題 2 | 47. 判断推理：手順 2 |
| 8. 判断推理：論理命題 3 | 48. 判断推理：手順 3 |
| 9. 判断推理：論理命題 4 | 49. 判断推理：集合 6 |
| 10. 判断推理：論理命題 5 | 50. 判断推理：集合 7 |
| 11. 判断推理：暗号 1 | 51. 判断推理：集合 8 |
| 12. 判断推理：暗号 2 | 52. 判断推理：集合 9 |
| 13. 判断推理：暗号 3 | 53. 判断推理：集合 1 0 |
| 14. 判断推理：暗号 4 | 54. 判断推理：論理命題 6 |
| 15. 判断推理：暗号 5 | 55. 判断推理：論理命題 7 |
| 16. 判断推理：対応関係 1 | 56. 判断推理：論理命題 8 |
| 17. 判断推理：対応関係 2 | 57. 判断推理：論理命題 9 |
| 18. 判断推理：対応関係 3 | 58. 判断推理：論理命題 1 0 |
| 19. 判断推理：対応関係 4 | 59. 空間把握：平面図形 1 |
| 20. 判断推理：対応関係 5 | 60. 空間把握：平面図形 2 |
| 21. 判断推理：試合と勝敗 1 | 61. 空間把握：平面図形 3 |
| 22. 判断推理：試合と勝敗 2 | 62. 空間把握：平面図形 4 |
| 23. 判断推理：試合と勝敗 3 | 63. 判断推理：暗号 6 |
| 24. 判断推理：試合と勝敗 4 | 64. 判断推理：暗号 7 |
| 25. 判断推理：試合と勝敗 5 | 65. 判断推理：暗号 8 |
| 26. 判断推理：証言推理 1 | 66. 判断推理：暗号 9 |
| 27. 判断推理：証言推理 2 | 67. 判断推理：暗号 1 0 |
| 28. 判断推理：証言推理 3 | 68. 空間把握：軌跡 1 |
| 29. 判断推理：証言推理 4 | 69. 空間把握：軌跡 2 |
| 30. 判断推理：証言推理 5 | 70. 空間把握：軌跡 3 |
| 31. 判断推理：順序関係 1 | 71. 総合演習 1 |
| 32. 判断推理：順序関係 2 | 72. 総合演習 2 |
| 33. 判断推理：順序関係 3 | 73. 総合演習 3 |
| 34. 判断推理：順序関係 4 | 74. 総合演習 4 |
| 35. 判断推理：順序関係 5 | 75. 総合演習 5 |
| 36. 判断推理：方位・位置 1 | 76. 総合演習 6 |
| 37. 判断推理：方位・位置 2 | 77. 総合演習 7 |
| 38. 判断推理：方位・位置 3 | 78. 総合演習 8 |
| 39. 判断推理：方位・位置 4 | 79. 総合演習 9 |
| 40. 判断推理：方位・位置 5 | 80. 総合演習 1 0 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域及び平面図形、展開図等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域の基本を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 判断推理：対応関係 1 | 31. 判断推理：方位・位置 1 |
| 2. 判断推理：対応関係 2 | 32. 判断推理：方位・位置 2 |
| 3. 判断推理：対応関係 3 | 33. 判断推理：方位・位置 3 |
| 4. 判断推理：対応関係 4 | 34. 判断推理：方位・位置 4 |
| 5. 判断推理：対応関係 5 | 35. 判断推理：方位・位置 5 |
| 6. 空間把握：投影図 1 | 36. 空間把握：立体図形 1 |
| 7. 空間把握：投影図 2 | 37. 空間把握：立体図形 2 |
| 8. 空間把握：投影図 3 | 38. 空間把握：立体図形 3 |
| 9. 空間把握：投影図 4 | 39. 空間把握：立体図形 4 |
| 10. 空間把握：投影図 5 | 40. 空間把握：立体図形 5 |
| 11. 判断推理：試合と勝敗 1 | 41. 判断推理：数量推理 1 |
| 12. 判断推理：試合と勝敗 2 | 42. 判断推理：数量推理 2 |
| 13. 判断推理：勝敗と勝敗 3 | 43. 判断推理：数量推理 3 |
| 14. 判断推理：証言推理 1 | 44. 判断推理：手順 1 |
| 15. 判断推理：証言推理 2 | 45. 判断推理：手順 2 |
| 16. 判断推理：証言推理 3 | 46. 判断推理：手順 3 |
| 17. 空間把握：展開図 1 | 47. 空間把握：位相・道順 1 |
| 18. 空間把握：展開図 2 | 48. 空間把握：位相・道順 2 |
| 19. 空間把握：展開図 3 | 49. 空間把握：位相・道順 3 |
| 20. 空間把握：展開図 4 | 50. 空間把握：位相・道順 4 |
| 21. 空間把握：展開図 5 | 51. 空間把握：位相・道順 5 |
| 22. 判断推理：順序関係 1 | 52. 判断推理・空間把握：総合演習 1 |
| 23. 判断推理：順序関係 2 | 53. 判断推理・空間把握：総合演習 2 |
| 24. 判断推理：順序関係 3 | 54. 判断推理・空間把握：総合演習 3 |
| 25. 判断推理：順序関係 4 | 55. 判断推理・空間把握：総合演習 4 |
| 26. 判断推理：順序関係 5 | 56. 判断推理・空間把握：総合演習 5 |
| 27. 空間把握：折り紙・サイコロ 1 | 57. 判断推理・空間把握：総合演習 6 |
| 28. 空間把握：折り紙・サイコロ 2 | 58. 判断推理・空間把握：総合演習 7 |
| 29. 空間把握：折り紙・サイコロ 3 | 59. 判断推理・空間把握：総合演習 8 |
| 30. 空間把握：折り紙・サイコロ 4 | 60. 判断推理・空間把握：総合演習 9 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	資料分析 I A	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

1. 実数・指数 1
2. 実数・指数 2
3. 実数・指数 3
4. 実数・指数 4
5. 実数・指数 5
6. 構成比 1
7. 構成比 2
8. 構成比 3
9. 構成比 4
10. 構成比 5
11. 増加率・その他 1
12. 増加率・その他 2
13. 増加率・その他 3
14. 増加率・その他 4
15. 増加率・その他 5
16. 総合演習 1
17. 総合演習 2
18. 総合演習 3
19. 総合演習 4
20. 総合演習 5

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	資料分析 I B	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 実数・指数 1 | 21. 構成比 6 |
| 2. 実数・指数 2 | 22. 構成比 7 |
| 3. 実数・指数 3 | 23. 構成比 8 |
| 4. 実数・指数 4 | 24. 構成比 9 |
| 5. 実数・指数 5 | 25. 構成比 1 0 |
| 6. 構成比 1 | 26. 増加率・その他 6 |
| 7. 構成比 2 | 27. 増加率・その他 7 |
| 8. 構成比 3 | 28. 増加率・その他 8 |
| 9. 構成比 4 | 29. 増加率・その他 9 |
| 10. 構成比 5 | 30. 増加率・その他 1 0 |
| 11. 増加率・その他 1 | 31. 総合演習 1 |
| 12. 増加率・その他 2 | 32. 総合演習 2 |
| 13. 増加率・その他 3 | 33. 総合演習 3 |
| 14. 増加率・その他 4 | 34. 総合演習 4 |
| 15. 増加率・その他 5 | 35. 総合演習 5 |
| 16. 実数・指数 6 | 36. 総合演習 6 |
| 17. 実数・指数 7 | 37. 総合演習 7 |
| 18. 実数・指数 8 | 38. 総合演習 8 |
| 19. 実数・指数 9 | 39. 総合演習 9 |
| 20. 実数・指数 1 0 | 40. 総合演習 1 0 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	資料分析演習 I	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の応用力を身につけ、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 実数・指数 1 | 21. 構成比 6 |
| 2. 実数・指数 2 | 22. 構成比 7 |
| 3. 実数・指数 3 | 23. 構成比 8 |
| 4. 実数・指数 4 | 24. 構成比 9 |
| 5. 実数・指数 5 | 25. 構成比 1 0 |
| 6. 構成比 1 | 26. 増加率・その他 6 |
| 7. 構成比 2 | 27. 増加率・その他 7 |
| 8. 構成比 3 | 28. 増加率・その他 8 |
| 9. 構成比 4 | 29. 増加率・その他 9 |
| 10. 構成比 5 | 30. 増加率・その他 1 0 |
| 11. 増加率・その他 1 | 31. 総合演習 1 |
| 12. 増加率・その他 2 | 32. 総合演習 2 |
| 13. 増加率・その他 3 | 33. 総合演習 3 |
| 14. 増加率・その他 4 | 34. 総合演習 4 |
| 15. 増加率・その他 5 | 35. 総合演習 5 |
| 16. 実数・指数 6 | 36. 総合演習 6 |
| 17. 実数・指数 7 | 37. 総合演習 7 |
| 18. 実数・指数 8 | 38. 総合演習 8 |
| 19. 実数・指数 9 | 39. 総合演習 9 |
| 20. 実数・指数 1 0 | 40. 総合演習 1 0 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	文章研究 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

現代文・古文・漢文・英文等の文章に対する読解力・内容把握力・構成力等の基礎を理解することを目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 要旨把握 1
2. 要旨把握 2
3. 内容把握 1
4. 内容把握 2
5. 下線部把握 1
6. 下線部把握 2
7. 空欄補充 1
8. 空欄補充 2
9. 文章整序 1
10. 文章整序 2
11. 古文の内容把握 1
12. 古文の内容把握 2
13. 漢文の内容把握 1
14. 漢文の内容把握 2
15. 英文の内容把握 1
16. 英文の内容把握 2
17. 総合演習 1
18. 総合演習 2
19. 総合演習 3
20. 総合演習 4

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

文章研究に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	文章研究Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章に対する「基礎力」「読解力」「作成力」を総合的に身に付け、文章読解・作成能力検定合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 基礎力：語彙 1
2. 基礎力：語彙 2
3. 基礎力：文法 1
4. 基礎力：文法 2
5. 読解力：意味内容 1
6. 読解力：意味内容 2
7. 読解力：文章構成 1
8. 読解力：文章構成 2
9. 読解力：資料分析 1
10. 読解力：資料分析 2
11. 作成力（1）：表現 1
12. 作成力（1）：表現 2
13. 作成力（2）：総合 1
14. 作成力（2）：総合 2
15. 作成力（2）：通信文 1
16. 作成力（2）：通信文 2
17. 作成力（3）：総合 1
18. 作成力（3）：総合 2
19. 作成力（3）：意見文 1
20. 作成力（3）：意見文 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

文章読解・作成能力検定に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	適性演習 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

事務処理能力の基本である文書作成・集計・照合・転記・分類・整理といった各作業を、速くかつ正確に行うことを目標とする。計算・分類・照合・置き換え・図形把握等の形式を中心として、基礎的な問題についてスパイラル方式による演習を行う。

〔講義・演習項目〕

1. 基礎編：計算・分類・図形把握の形式 1
2. 基礎編：計算・分類・図形把握の形式 2
3. 基礎編：計算・分類・図形把握の形式 3
4. 基礎編：計算・照合・図形把握の形式 1
5. 基礎編：計算・照合・図形把握の形式 2
6. 基礎編：計算・照合・図形把握の形式 3
7. 基礎編：計算・置き換え・図形把握の形式 1
8. 基礎編：計算・置き換え・図形把握の形式 2
9. 基礎編：計算・置き換え・図形把握の形式 3
10. 基礎編：分類・照合・図形把握の形式 1
11. 基礎編：分類・照合・図形把握の形式 2
12. 基礎編：分類・照合・図形把握の形式 3
13. 基礎編：分類・置き換え・図形把握の形式 1
14. 基礎編：分類・置き換え・図形把握の形式 2
15. 基礎編：分類・置き換え・図形把握の形式 3
16. 基礎編：照合・置き換え・図形把握の形式等 1
17. 基礎編：照合・置き換え・図形把握の形式等 2
18. 基礎編：照合・置き換え・図形把握の形式等 3
19. 基礎編：総合演習 1
20. 基礎編：総合演習 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

適性に関するプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	企業研究 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (各業界を代表する企業の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

就職活動に伴う企業研究として、実際に活躍している各業界を代表する企業の人事担当者より、会社の特徴や仕事内容、採用試験、企業の求める人物像などについて講演をしていただき、実際の仕事概要等を深く理解することにより、今後の就職活動に向けて自ら考え、行動する力を養成する為、1年次1月に実施する。

〔講義・演習項目〕

1. 企業研究の方法 1
2. 企業研究の方法 2
3. 企業研究の方法 3
4. 参加する企業について事前研究 1
5. 参加する企業について事前研究 2
6. 参加する企業について事前研究 3
7. 参加する企業について事前研究 4
8. 参加する企業について事前研究 5
9. 参加する企業について事前研究 6
10. 各企業の人事担当者からのご講演 1
11. 各企業の人事担当者からのご講演 2
12. 各企業の人事担当者からのご講演 3
13. 各企業の人事担当者からのご講演 4
14. 各企業の人事担当者からのご講演 5
15. 各企業の人事担当者からのご講演 6
16. 各企業の人事担当者からのご講演 7
17. 各企業の人事担当者からのご講演 8
18. 参加した企業について事後研究 1
19. 参加した企業について事後研究 2
20. 参加した企業について事後研究 3

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

企業等が準備するパンフレットおよび種々の資料を中心とする。

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、説明会における姿勢、レポート内容等を総合評価する。

科目名	官公庁研究 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (官公庁の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

官公庁の方々による2月に実施される業務説明会を通して、公務員の仕事概要等を深く理解することにより、今後希望する公務員試験に向けて考え行動する力を養成する。

〔講義・演習項目〕

1. 官公庁研究の方法 1
2. 官公庁研究の方法 2
3. 官公庁研究の方法 3
4. 参加する官公庁について事前研究 1
5. 参加する官公庁について事前研究 2
6. 参加する官公庁について事前研究 3
7. 参加する官公庁について事前研究 4
8. 参加する官公庁について事前研究 5
9. 参加する官公庁について事前研究 6
10. 参加する官公庁について事前研究 7
11. 参加する官公庁について事前研究 8
12. 各官公庁の人事担当者からのご講演 1
13. 各官公庁の人事担当者からのご講演 2
14. 各官公庁の人事担当者からのご講演 3
15. 各官公庁の人事担当者からのご講演 4
16. 参加した官公庁について事後研究 1
17. 参加した官公庁について事後研究 2
18. 参加した官公庁について事後研究 3
19. 参加した官公庁について事後研究 4
20. 参加した官公庁について事後研究 5

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

官公庁が準備するパンフレットおよび種々の資料を中心とする。

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、説明会における姿勢、レポート内容等を総合評価する。

科目名	ビジネス実務	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

ビジネス実務の遂行に必要な一般的な知識の習得および一般的な業務を行うのに必要な知識・技能の習得を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 社会人として必要とされる資質 1
2. 社会人として必要とされる資質 2
3. 企業知識および一般知識 1
4. 企業知識および一般知識 2
5. 社交としての文書の作成 1
6. 社交としての文書の作成 2
7. 社交としての文書の作成 3
8. 営業の文書の作成 1
9. 営業の文書の作成 2
10. 営業の文書の作成 3
11. 社内の一般文書の作成 1
12. 社内の一般文書の作成 2
13. 社内の一般文書の作成 3
14. 文書の取扱 1
15. 文書の取扱 2
16. 文書の取扱 3
17. 慶事・弔事に関する作法・服装・式次第等の知識 1
18. 慶事・弔事に関する作法・服装・式次第等の知識 2
19. 交際業務に関する知識 等 1
20. 交際業務に関する知識 等 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

ビジネス文書に関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	憲法概論 I	開講年次	1年	授業時数	80	単位数	4
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

それぞれの条文に関連する基本的な争点の考察を中心に講義を展開する。日本国憲法の基本的理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 前文 1 | 41. 国会の最高機関性、二院制、国会・議院の権能 1 |
| 2. 前文 2 | 42. 国会の最高機関性、二院制、国会・議院の権能 2 |
| 3. 天皇 1 | 43. 国会の最高機関性、二院制、国会・議院の権能 3 |
| 4. 天皇 2 | 44. 国会の最高機関性、二院制、国会・議院の権能 4 |
| 5. 戦争の放棄 1 | 45. 国会の最高機関性、二院制、国会・議院の権能 5 |
| 6. 戦争の放棄 2 | 46. 衆議院の解散 1 |
| 7. 人権の観念 1 | 47. 衆議院の解散 2 |
| 8. 人権の観念 2 | 48. 衆議院の解散 3 |
| 9. 人権と主体 1 | 49. 衆議院の解散 4 |
| 10. 人権と主体 2 | 50. 内閣の組織と権能 1 |
| 11. 人権と主体 3 | 51. 内閣の組織と権能 2 |
| 12. 人権と公共の福祉 1 | 52. 内閣の組織と権能 3 |
| 13. 人権と公共の福祉 2 | 53. 内閣の組織と権能 4 |
| 14. 人権と公共の福祉 3 | 54. 内閣の組織と権能 5 |
| 15. 私人間における人権 1 | 55. 議院内閣制 1 |
| 16. 私人間における人権 2 | 56. 議院内閣制 2 |
| 17. 新しい人権 1 | 57. 議院内閣制 3 |
| 18. 新しい人権 2 | 58. 議院内閣制 4 |
| 19. 新しい人権 3 | 59. 議院内閣制 5 |
| 20. 新しい人権 4 | 60. 財政 1 |
| 21. 法の下での平等 1 | 61. 財政 2 |
| 22. 法の下での平等 2 | 62. 財政 3 |
| 23. 法の下での平等 3 | 63. 財政 4 |
| 24. 法の下での平等 4 | 64. 地方自治 1 |
| 25. 精神的自由権 1 | 65. 地方自治 2 |
| 26. 精神的自由権 2 | 66. 地方自治 3 |
| 27. 職業選択・居住移転の自由 1 | 67. 地方自治 4 |
| 28. 職業選択・居住移転の自由 2 | 68. 司法権 1 |
| 29. 財産権の保障 1 | 69. 司法権 2 |
| 30. 財産権の保障 2 | 70. 司法権 3 |
| 31. 人身の自由と適正手続 1 | 71. 司法権 4 |
| 32. 人身の自由と適正手続 2 | 72. 違憲審査制 1 |
| 33. 国務請求権と参政権 1 | 73. 違憲審査制 2 |
| 34. 国務請求権と参政権 2 | 74. 違憲審査制 3 |
| 35. 生存権・労働基本権 1 | 75. 違憲審査制 4 |
| 36. 生存権・労働基本権 2 | 76. 違憲審査制 5 |
| 37. 生存権・労働基本権 3 | 77. 憲法改正 等 1 |
| 38. 生存権・労働基本権 4 | 78. 憲法改正 等 2 |
| 39. 教育を受ける権利 等 1 | 79. 憲法改正 等 3 |
| 40. 教育を受ける権利 等 2 | 80. 憲法改正 等 4 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

憲法の基本的テキストと判例集等。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	民法概論 I	開講年次	1 年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

総則及び物権法に関する、民法第1編、第2編の各条文の意義・要件・効果を分析・整理するとともに、各条文の解釈において生起する重要問題について、判例および通説的な見解の考察をすすめ、よって総則・物権法の基本的知識および体系的思考の修得を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|----------------------|---------------------|-----------------------|
| 1. 総則：権利能力の主体・意思決定 1 | 41. 物権：物権の変動 5 | 81. 物権：抵当権以外の担保物権 9 |
| 2. 総則：権利能力の主体・意思決定 2 | 42. 物権：物権の変動 6 | 82. 物権：抵当権 1 |
| 3. 総則：権利能力の主体・意思決定 3 | 43. 物権：物権の変動 7 | 83. 物権：抵当権 2 |
| 4. 総則：権利能力の主体・意思決定 4 | 44. 物権：物権の変動 8 | 84. 物権：抵当権 3 |
| 5. 総則：権利能力の主体・意思決定 5 | 45. 物権：物権の変動 9 | 85. 物権：抵当権 4 |
| 6. 総則：権利能力の主体・意思決定 6 | 46. 物権：占有権 1 | 86. 物権：抵当権 5 |
| 7. 総則：権利能力の主体・意思決定 7 | 47. 物権：占有権 2 | 87. 物権：抵当権 6 |
| 8. 総則：権利能力の主体・意思決定 8 | 48. 物権：占有権 3 | 88. 物権：抵当権 7 |
| 9. 総則：権利能力の主体・意思決定 9 | 49. 物権：占有権 4 | 89. 物権：抵当権 8 |
| 10. 総則：代理・無効と取消 1 | 50. 物権：占有権 5 | 90. 物権：抵当権 9 |
| 11. 総則：代理・無効と取消 2 | 51. 物権：占有権 6 | 91. 物権：非典型担保物権 等 1 |
| 12. 総則：代理・無効と取消 3 | 52. 物権：占有権 7 | 92. 物権：非典型担保物権 等 2 |
| 13. 総則：代理・無効と取消 4 | 53. 物権：占有権 8 | 93. 物権：非典型担保物権 等 3 |
| 14. 総則：代理・無効と取消 5 | 54. 物権：占有権 9 | 94. 物権：非典型担保物権 等 4 |
| 15. 総則：代理・無効と取消 6 | 55. 物権：所有権 1 | 95. 物権：非典型担保物権 等 5 |
| 16. 総則：代理・無効と取消 7 | 56. 物権：所有権 2 | 96. 物権：非典型担保物権 等 6 |
| 17. 総則：代理・無効と取消 8 | 57. 物権：所有権 3 | 97. 物権：非典型担保物権 等 7 |
| 18. 総則：代理・無効と取消 9 | 58. 物権：所有権 4 | 98. 物権：非典型担保物権 等 8 |
| 19. 総則：条件と期限・期間 1 | 59. 物権：所有権 5 | 99. 物権：非典型担保物権 等 9 |
| 20. 総則：条件と期限・期間 2 | 60. 物権：所有権 6 | 100. 物権：非典型担保物権 等 1 0 |
| 21. 総則：条件と期限・期間 3 | 61. 物権：所有権 7 | |
| 22. 総則：条件と期限・期間 4 | 62. 物権：所有権 8 | |
| 23. 総則：条件と期限・期間 5 | 63. 物権：所有権 9 | |
| 24. 総則：条件と期限・期間 6 | 64. 物権：用益物権 1 | |
| 25. 総則：条件と期限・期間 7 | 65. 物権：用益物権 2 | |
| 26. 総則：条件と期限・期間 8 | 66. 物権：用益物権 3 | |
| 27. 総則：条件と期限・期間 9 | 67. 物権：用益物権 4 | |
| 28. 総則：時効等 1 | 68. 物権：用益物権 5 | |
| 29. 総則：時効等 2 | 69. 物権：用益物権 6 | |
| 30. 総則：時効等 3 | 70. 物権：用益物権 7 | |
| 31. 総則：時効等 4 | 71. 物権：用益物権 8 | |
| 32. 総則：時効等 5 | 72. 物権：用益物権 9 | |
| 33. 総則：時効等 6 | 73. 物権：抵当権以外の担保物権 1 | |
| 34. 総則：時効等 7 | 74. 物権：抵当権以外の担保物権 2 | |
| 35. 総則：時効等 8 | 75. 物権：抵当権以外の担保物権 3 | |
| 36. 総則：時効等 9 | 76. 物権：抵当権以外の担保物権 4 | |
| 37. 物権：物権の変動 1 | 77. 物権：抵当権以外の担保物権 5 | |
| 38. 物権：物権の変動 2 | 78. 物権：抵当権以外の担保物権 6 | |
| 39. 物権：物権の変動 3 | 79. 物権：抵当権以外の担保物権 7 | |
| 40. 物権：物権の変動 4 | 80. 物権：抵当権以外の担保物権 8 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

民法の基本的テキストおよび判例集等。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	民法概論Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	80	単位数	4
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

債権法及び物権法に関する、民法第3編、第4編、第5編の各条文の意義・要件・効果を分析・整理するとともに、各条文の解釈において生起する重要問題について、判例および通説的な見解の考察をすすめ、よって債権法・家族法の基本的知識および体系的思考の修得を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 総則：権利能力の主体・意思決定 1 | 41. 債権法：債権の目的と効力 1 |
| 2. 総則：権利能力の主体・意思決定 2 | 42. 債権法：債権の目的と効力 2 |
| 3. 総則：権利能力の主体・意思決定 3 | 43. 債権法：債権の目的と効力 3 |
| 4. 総則：代理・無効と取消 1 | 44. 債権法：債権の保全 1 |
| 5. 総則：代理・無効と取消 2 | 45. 債権法：債権の保全 2 |
| 6. 総則：代理・無効と取消 3 | 46. 債権法：債権の保全 3 |
| 7. 総則：条件と期限・期間 1 | 47. 債権法：多数当事者の関係 1 |
| 8. 総則：条件と期限・期間 2 | 48. 債権法：多数当事者の関係 2 |
| 9. 総則：条件と期限・期間 3 | 49. 債権法：多数当事者の関係 3 |
| 10. 総則：時効等 1 | 50. 債権法：債権の譲渡消滅 1 |
| 11. 総則：時効等 2 | 52. 債権法：債権の譲渡消滅 2 |
| 12. 総則：時効等 3 | 52. 債権法：債権の譲渡消滅 3 |
| 13. 物権：物権の変動 1 | 53. 債権法：契約総則 1 |
| 14. 物権：物権の変動 2 | 54. 債権法：契約総則 2 |
| 15. 物権：物権の変動 3 | 55. 債権法：契約総則 3 |
| 16. 物権：物権の変動 4 | 56. 債権法：売買型の契約 1 |
| 17. 物権：占有権 1 | 57. 債権法：売買型の契約 2 |
| 18. 物権：占有権 2 | 58. 債権法：売買型の契約 3 |
| 19. 物権：占有権 3 | 59. 債権法：賃貸借型の契約 1 |
| 20. 物権：占有権 4 | 60. 債権法：賃貸借型の契約 2 |
| 21. 物権：所有権 1 | 61. 債権法：賃貸借型の契約 3 |
| 22. 物権：所有権 2 | 62. 債権法：役務型の契約 1 |
| 23. 物権：所有権 3 | 63. 債権法：役務型の契約 2 |
| 24. 物権：所有権 4 | 64. 債権法：役務型の契約 3 |
| 25. 物権：用益物権 1 | 65. 債権法：その他の契約 1 |
| 26. 物権：用益物権 2 | 66. 債権法：その他の契約 2 |
| 27. 物権：用益物権 3 | 67. 債権法：事務管理と不当利得 1 |
| 28. 物権：用益物権 4 | 68. 債権法：事務管理と不当利得 2 |
| 29. 物権：抵当権以外の担保物権 1 | 69. 債権法：一般不法行為 1 |
| 30. 物権：抵当権以外の担保物権 2 | 70. 債権法：一般不法行為 2 |
| 31. 物権：抵当権以外の担保物権 3 | 71. 債権法：特殊な不法行為 等 1 |
| 32. 物権：抵当権以外の担保物権 4 | 72. 債権法：特殊な不法行為 等 2 |
| 33. 物権：抵当権 1 | 73. 家族法：親族総則・婚姻 1 |
| 34. 物権：抵当権 2 | 74. 家族法：親族総則・婚姻 2 |
| 35. 物権：抵当権 3 | 75. 家族法：親子・親権・扶養 1 |
| 36. 物権：抵当権 4 | 76. 家族法：親子・親権・扶養 2 |
| 37. 物権：非典型担保物権 等 1 | 77. 家族法：相続法総説・法定相続 1 |
| 38. 物権：非典型担保物権 等 2 | 78. 家族法：相続法総説・法定相続 2 |
| 39. 物権：非典型担保物権 等 3 | 79. 家族法：遺言・遺留分 等 1 |
| 40. 物権：非典型担保物権 等 4 | 80. 家族法：遺言・遺留分 等 2 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

民法の基本的テキストおよび判例集等。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	行政法概論 I	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

行政行為、行政行為以外の行政の行為形式、行政上の義務履行確保の手段等を中心に講義を展開する。行政法総論および作用法についての基本的事項の理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 行政法の一般原則 1 | 21. 行政行為と行政手続法 4 |
| 2. 行政法の一般原則 2 | 22. 行政行為と行政手続法 5 |
| 3. 行政法の一般原則 3 | 23. 行政立法と行政契約 1 |
| 4. 行政法の一般原則 4 | 24. 行政立法と行政契約 2 |
| 5. 行政行為とその種類 1 | 25. 行政立法と行政契約 3 |
| 6. 行政行為とその種類 2 | 26. 行政立法と行政契約 4 |
| 7. 行政行為とその種類 3 | 27. 行政指導と行政計画 1 |
| 8. 行政行為とその種類 4 | 28. 行政指導と行政計画 2 |
| 9. 行政行為の効力と行政裁量 1 | 29. 行政指導と行政計画 3 |
| 10. 行政行為の効力と行政裁量 2 | 30. 行政指導と行政計画 4 |
| 11. 行政行為の効力と行政裁量 3 | 31. 行政指導と行政計画 5 |
| 12. 行政行為の効力と行政裁量 4 | 32. 行政上の強制執行 1 |
| 13. 行政行為の瑕疵と取消・撤回 1 | 33. 行政上の強制執行 2 |
| 14. 行政行為の瑕疵と取消・撤回 2 | 34. 行政上の強制執行 3 |
| 15. 行政行為の瑕疵と取消・撤回 3 | 35. 行政上の強制執行 4 |
| 16. 行政行為の瑕疵と取消・撤回 4 | 36. 行政上の強制執行 5 |
| 17. 行政行為の瑕疵と取消・撤回 5 | 37. 行政罰と即時強制・行政調査 等 1 |
| 18. 行政行為と行政手続法 1 | 38. 行政罰と即時強制・行政調査 等 2 |
| 19. 行政行為と行政手続法 2 | 39. 行政罰と即時強制・行政調査 等 3 |
| 20. 行政行為と行政手続法 3 | 40. 行政罰と即時強制・行政調査 等 4 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

行政法の基本的テキストおよび判例集等。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	行政法概論Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	80	単位数	4
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

行政の組織、国家補償、不服申立て及び行政事件訴訟等を中心に講義を展開する。行政救済論および組織法についての基本的事項の理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 国家補償と国家賠償 1 | 41. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続 1 |
| 2. 国家補償と国家賠償 2 | 42. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続 2 |
| 3. 国家補償と国家賠償 3 | 43. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続 3 |
| 4. 国家補償と国家賠償 4 | 44. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続 4 |
| 5. 国家補償と国家賠償 5 | 45. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続 5 |
| 6. 国家補償と国家賠償 6 | 46. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続 6 |
| 7. 国家補償と国家賠償 7 | 47. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続 7 |
| 8. 国家補償と国家賠償 8 | 48. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続 8 |
| 9. 国家補償と国家賠償 9 | 49. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続 9 |
| 10. 国家補償と国家賠償 10 | 50. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続 10 |
| 11. 行政上の損失補償 1 | 51. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 1 |
| 12. 行政上の損失補償 2 | 52. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 2 |
| 13. 行政上の損失補償 3 | 53. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 3 |
| 14. 行政上の損失補償 4 | 54. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 4 |
| 15. 行政上の損失補償 5 | 55. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 5 |
| 16. 行政上の損失補償 6 | 56. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 6 |
| 17. 行政上の損失補償 7 | 57. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 7 |
| 18. 行政上の損失補償 8 | 58. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 8 |
| 19. 行政上の損失補償 9 | 59. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 9 |
| 20. 行政上の損失補償 10 | 60. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 10 |
| 21. 不服申立て制度とその方法等 1 | 61. 国、地方公共団体の行政組織 1 |
| 22. 不服申立て制度とその方法等 2 | 62. 国、地方公共団体の行政組織 2 |
| 23. 不服申立て制度とその方法等 3 | 63. 国、地方公共団体の行政組織 3 |
| 24. 不服申立て制度とその方法等 4 | 64. 国、地方公共団体の行政組織 4 |
| 25. 不服申立て制度とその方法等 5 | 65. 国、地方公共団体の行政組織 5 |
| 26. 不服申立て制度とその方法等 6 | 66. 国、地方公共団体の行政組織 6 |
| 27. 不服申立て制度とその方法等 7 | 67. 国、地方公共団体の行政組織 7 |
| 28. 不服申立て制度とその方法等 8 | 68. 国、地方公共団体の行政組織 8 |
| 29. 不服申立て制度とその方法等 9 | 69. 国、地方公共団体の行政組織 9 |
| 30. 不服申立て制度とその方法等 10 | 70. 国、地方公共団体の行政組織 10 |
| 31. 行政事件訴訟 1 | 71. 公務員の地位 等 1 |
| 32. 行政事件訴訟 2 | 72. 公務員の地位 等 2 |
| 33. 行政事件訴訟 3 | 73. 公務員の地位 等 3 |
| 34. 行政事件訴訟 4 | 74. 公務員の地位 等 4 |
| 35. 行政事件訴訟 5 | 75. 公務員の地位 等 5 |
| 36. 行政事件訴訟 6 | 76. 公務員の地位 等 6 |
| 37. 行政事件訴訟 7 | 77. 公務員の地位 等 7 |
| 38. 行政事件訴訟 8 | 78. 公務員の地位 等 8 |
| 39. 行政事件訴訟 9 | 79. 公務員の地位 等 9 |
| 40. 行政事件訴訟 10 | 80. 公務員の地位 等 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

行政法の基本的テキストおよび判例集等。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	経済学 I	開講年次	1 年	授業時数	100	単位数	5
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

国民経済計算、国民所得の決定、消費の理論、IS-LM分析、財政政策と金融政策、インフレーションと失業等、マクロ経済学の基本構造についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 国民経済計算 1	41. 消費の理論 5	81. 財政政策と金融政策 7
2. 国民経済計算 2	42. 消費の理論 6	82. 財政政策と金融政策 8
3. 国民経済計算 3	43. 消費の理論 7	83. 財政政策と金融政策 9
4. 国民経済計算 4	44. 消費の理論 8	84. 財政政策と金融政策 1 0
5. 国民経済計算 5	45. 消費の理論 9	85. 財政政策と金融政策 1 1
6. 国民経済計算 6	46. 消費の理論 1 0	86. 財政政策と金融政策 1 2
7. 国民経済計算 7	47. 消費の理論 1 1	87. 財政政策と金融政策 1 3
8. 国民経済計算 8	48. 消費の理論 1 2	88. インフレーションと失業 等 1
9. 国民経済計算 9	49. IS 曲線・LM 曲線の導出 1	89. インフレーションと失業 等 2
10. 国民経済計算 1 0	50. IS 曲線・LM 曲線の導出 2	90. インフレーションと失業 等 3
11. 国民経済計算 1 1	51. IS 曲線・LM 曲線の導出 3	91. インフレーションと失業 等 4
12. 国民経済計算 1 2	52. IS 曲線・LM 曲線の導出 4	92. インフレーションと失業 等 5
13. セイの法則と有効需要の原理 1	53. IS 曲線・LM 曲線の導出 5	93. インフレーションと失業 等 6
14. セイの法則と有効需要の原理 2	54. IS 曲線・LM 曲線の導出 6	94. インフレーションと失業 等 7
15. セイの法則と有効需要の原理 3	55. IS 曲線・LM 曲線の導出 7	95. インフレーションと失業 等 8
16. セイの法則と有効需要の原理 4	56. IS 曲線・LM 曲線の導出 8	96. インフレーションと失業 等 9
17. セイの法則と有効需要の原理 5	57. IS 曲線・LM 曲線の導出 9	97. インフレーションと失業 等 1 0
18. セイの法則と有効需要の原理 6	58. IS 曲線・LM 曲線の導出 1 0	98. インフレーションと失業 等 1 1
19. セイの法則と有効需要の原理 7	59. IS 曲線・LM 曲線の導出 1 1	99. インフレーションと失業 等 1 2
20. セイの法則と有効需要の原理 8	60. IS 曲線・LM 曲線の導出 1 2	100. インフレーションと失業 等 1 3
21. セイの法則と有効需要の原理 9	61. IS 曲線・LM 曲線の導出 1 3	
22. セイの法則と有効需要の原理 1 0	62. IS-LM 分析 1	
23. セイの法則と有効需要の原理 1 1	63. IS-LM 分析 2	
24. セイの法則と有効需要の原理 1 2	64. IS-LM 分析 3	
25. 国民所得決定の理論 1	65. IS-LM 分析 4	
26. 国民所得決定の理論 2	66. IS-LM 分析 5	
27. 国民所得決定の理論 3	67. IS-LM 分析 6	
28. 国民所得決定の理論 4	68. IS-LM 分析 7	
29. 国民所得決定の理論 5	69. IS-LM 分析 8	
30. 国民所得決定の理論 6	70. IS-LM 分析 9	
31. 国民所得決定の理論 7	71. IS-LM 分析 1 0	
32. 国民所得決定の理論 8	72. IS-LM 分析 1 1	
33. 国民所得決定の理論 9	73. IS-LM 分析 1 2	
34. 国民所得決定の理論 1 0	74. IS-LM 分析 1 3	
35. 国民所得決定の理論 1 1	75. 財政政策と金融政策 1	
36. 国民所得決定の理論 1 2	76. 財政政策と金融政策 2	
37. 消費の理論 1	77. 財政政策と金融政策 3	
38. 消費の理論 2	78. 財政政策と金融政策 4	
39. 消費の理論 3	79. 財政政策と金融政策 5	
40. 消費の理論 4	80. 財政政策と金融政策 6	

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

マクロ経済学の基本的テキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	経済学Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

完全競争市場における消費者の行動および企業者の行動、部分均衡分析と一般均衡分析、不完全競争市場における企業の行動、市場の失敗、国際貿易等、ミクロ経済学の基本構造の理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 効用関数・無差別曲線 1 | 31. 供給曲線の導出 1 |
| 2. 効用関数・無差別曲線 2 | 32. 供給曲線の導出 2 |
| 3. 効用関数・無差別曲線 3 | 33. 供給曲線の導出 3 |
| 4. 効用関数・無差別曲線 4 | 34. 供給曲線の導出 4 |
| 5. 効用関数・無差別曲線 5 | 35. 供給曲線の導出 5 |
| 6. 最適消費量の決定 1 | 36. 余剰分析 1 |
| 7. 最適消費量の決定 2 | 37. 余剰分析 2 |
| 8. 最適消費量の決定 3 | 38. 余剰分析 3 |
| 9. 最適消費量の決定 4 | 39. 余剰分析 4 |
| 10. 最適消費量の決定 5 | 40. 余剰分析 5 |
| 11. 所得効果・代替効果 1 | 41. パレート最適 1 |
| 12. 所得効果・代替効果 2 | 42. パレート最適 2 |
| 13. 所得効果・代替効果 3 | 43. パレート最適 3 |
| 14. 所得効果・代替効果 4 | 44. パレート最適 4 |
| 15. 所得効果・代替効果 5 | 45. パレート最適 5 |
| 16. 需要曲線の導出 1 | 46. 不完全競争 1 |
| 17. 需要曲線の導出 2 | 47. 不完全競争 2 |
| 18. 需要曲線の導出 3 | 48. 不完全競争 3 |
| 19. 需要曲線の導出 4 | 49. 不完全競争 4 |
| 20. 需要曲線の導出 5 | 50. 不完全競争 5 |
| 21. 生産関数・等量曲線 1 | 51. 市場の失敗 1 |
| 22. 生産関数・等量曲線 2 | 52. 市場の失敗 2 |
| 23. 生産関数・等量曲線 3 | 53. 市場の失敗 3 |
| 24. 生産関数・等量曲線 4 | 54. 市場の失敗 4 |
| 25. 生産関数・等量曲線 5 | 55. 市場の失敗 5 |
| 26. 費用最小化・利潤最大化 1 | 56. 国際貿易 等 1 |
| 27. 費用最小化・利潤最大化 2 | 57. 国際貿易 等 2 |
| 28. 費用最小化・利潤最大化 3 | 58. 国際貿易 等 3 |
| 29. 費用最小化・利潤最大化 4 | 59. 国際貿易 等 4 |
| 30. 費用最小化・利潤最大化 5 | 60. 国際貿易 等 5 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

ミクロ経済学の基本的テキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	経済学演習 I	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

国民経済計算、国民所得の決定、消費の理論、IS-LM分析、財政政策と金融政策、インフレーションと失業等についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 国民経済計算に関する問題 1 | 31. 効用関数・無差別曲線に関する問題 3 |
| 2. 国民経済計算に関する問題 2 | 32. 効用関数・無差別曲線に関する問題 4 |
| 3. 国民経済計算に関する問題 3 | 33. 最適消費量の決定に関する問題 1 |
| 4. 国民経済計算に関する問題 4 | 34. 最適消費量の決定に関する問題 2 |
| 5. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 1 | 35. 最適消費量の決定に関する問題 3 |
| 6. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 2 | 36. 最適消費量の決定に関する問題 4 |
| 7. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 3 | 37. 所得効果・代替効果に関する問題 1 |
| 8. セイの法則と有効需要の原理に関する問題 4 | 38. 所得効果・代替効果に関する問題 2 |
| 9. 国民所得決定に関する問題 1 | 39. 所得効果・代替効果に関する問題 3 |
| 10. 国民所得決定に関する問題 2 | 40. 所得効果・代替効果に関する問題 4 |
| 11. 国民所得決定に関する問題 3 | 41. 需要曲線の導出に関する問題 1 |
| 12. 国民所得決定に関する問題 4 | 42. 需要曲線の導出に関する問題 2 |
| 13. 消費の理論に関する問題 1 | 43. 需要曲線の導出に関する問題 3 |
| 14. 消費の理論に関する問題 2 | 44. 需要曲線の導出に関する問題 4 |
| 15. 消費の理論に関する問題 3 | 45. 生産関数・等量曲線に関する問題 1 |
| 16. 消費の理論に関する問題 4 | 46. 生産関数・等量曲線に関する問題 2 |
| 17. IS-LM分析に関する問題 1 | 47. 生産関数・等量曲線に関する問題 3 |
| 18. IS-LM分析に関する問題 2 | 48. 生産関数・等量曲線に関する問題 4 |
| 19. IS-LM分析に関する問題 3 | 49. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 1 |
| 20. IS-LM分析に関する問題 4 | 50. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 2 |
| 21. 財政政策と金融政策に関する問題 1 | 51. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 3 |
| 22. 財政政策と金融政策に関する問題 2 | 52. 供給曲線の導出に関する問題 1 |
| 23. 財政政策と金融政策に関する問題 3 | 53. 供給曲線の導出に関する問題 2 |
| 24. 財政政策と金融政策に関する問題 4 | 54. 供給曲線の導出に関する問題 3 |
| 25. インフレーションと失業に関する問題 1 | 55. 独占・寡占に関する問題 1 |
| 26. インフレーションと失業に関する問題 2 | 56. 独占・寡占に関する問題 2 |
| 27. インフレーションと失業に関する問題 3 | 57. 独占・寡占に関する問題 3 |
| 28. インフレーションと失業に関する問題 4 | 58. 市場の失敗に関する問題 等 1 |
| 29. 効用関数・無差別曲線に関する問題 1 | 59. 市場の失敗に関する問題 等 2 |
| 30. 効用関数・無差別曲線に関する問題 2 | 60. 市場の失敗に関する問題 等 3 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

マクロ経済学の基本的テキスト、種々の問題集および問題プリント。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	経営学 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

企業組織形態の分類と特徴、およびライン組織、ファンクショナル組織、ライン・アンド・スタッフ組織、事業部制組織、マトリックス組織等の経営組織についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 経営学説全般に関する問題 1
2. 経営学説全般に関する問題 2
3. 伝統的管理論・人間関係論に関する問題 1
4. 伝統的管理論・人間関係論に関する問題 2
5. 伝統的管理論・人間関係論に関する問題 3
6. 意思決定論に関する問題 1
7. 意思決定論に関する問題 2
8. 意思決定論に関する問題 3
9. リーダーシップ論に関する問題 1
10. リーダーシップ論に関する問題 2
11. リーダーシップ論に関する問題 3
12. 経営組織全般に関する問題 1
13. 経営組織全般に関する問題 2
14. 事業部制組織に関する問題 1
15. 事業部制組織に関する問題 2
16. 経営戦略全般に関する問題 等 1
17. 経営戦略全般に関する問題 等 2
18. 総合演習 1
19. 総合演習 2
20. 総合演習 3

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

経営学の基本的テキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	政治学 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治権力、イデオロギーと政治意識、政党と圧力団体および国家概念、政治思想の歴史的変遷と現代政治学の考察および大衆社会の成立、マスメディア、世論、独裁等、政治学の基本的事項の理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 各国の政治制度に関する問題 1
2. 各国の政治制度に関する問題 2
3. 選挙制度に関する問題 1
4. 選挙制度に関する問題 2
5. 政治権力に関する問題 1
6. 政治権力に関する問題 2
7. イデオロギーと政治意識に関する問題 1
8. イデオロギーと政治意識に関する問題 2
9. 政党と圧力団体に関する問題 1
10. 政党と圧力団体に関する問題 2
11. 国家概念に関する問題 1
12. 国家概念に関する問題 2
13. 現代政治の諸問題に関する問題 1
14. 現代政治の諸問題に関する問題 2
15. 政治思想と現代政治学に関する問題 等 1
16. 政治思想と現代政治学に関する問題 等 2
17. 総合演習 1
18. 総合演習 2
19. 総合演習 3
20. 総合演習 4

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治学の基本的テキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	財政学 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

財政をめぐる歴史・理論および財政構造改革を中心とし、財政学の基本構造についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 予算制度に関する問題 1
2. 予算制度に関する問題 2
3. 予算制度に関する問題 3
4. 一般会計予算に関する問題 1
5. 一般会計予算に関する問題 2
6. 一般会計予算に関する問題 3
7. 財政投融资に関する問題 1
8. 財政投融资に関する問題 2
9. 財政投融资に関する問題 3
10. 地方財政に関する問題 1
11. 地方財政に関する問題 2
12. 地方財政に関する問題 3
13. 国庫金制度に関する問題 等 1
14. 国庫金制度に関する問題 等 2
15. 国庫金制度に関する問題 等 3
16. 総合演習 1
17. 総合演習 2
18. 総合演習 3
19. 総合演習 4
20. 総合演習 5

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

財政学の基本的テキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	行政学 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

行政権の役割と責任を中心として現代官僚制、行政国家、行政責任、行政委員会、審議会、さらには地方自治制度と諸問題等についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 官房学に関する問題
2. アメリカ行政学の展開に関する問題
3. 官僚制に関する問題
4. 行政国家に関する問題 1
5. 行政国家に関する問題 2
6. 現代の行政に関する問題
7. 地方自治に関する問題 1
8. 地方自治に関する問題 2
9. 予算に関する問題 1
10. 予算に関する問題 2
11. 行政広報に関する問題
12. 情報公開に関する問題 1
13. 情報公開に関する問題 2
14. 行政改革に関する問題
15. オンブズマンに関する問題 1
16. オンブズマンに関する問題 2
17. 地方自治制度の沿革に関する問題
18. 現代地方自治制度に関する問題 等
19. 総合演習 1
20. 総合演習 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

行政学の基本的テキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会学 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会関係における地位と役割、階級と階層、家族、都市と農村、および社会変動等についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 社会関係における地位と役割 1
2. 社会関係における地位と役割 2
3. 社会関係における地位と役割 3
4. 階級と階層 1
5. 階級と階層 2
6. 階級と階層 3
7. 社会変動論 1
8. 社会変動論 2
9. 社会変動論 3
10. 家族 1
11. 家族 2
12. 家族 3
13. 都市と農村 1
14. 都市と農村 2
15. 都市と農村 3
16. 都市と農村 4
17. 組織・管理論 等 1
18. 組織・管理論 等 2
19. 組織・管理論 等 3
20. 組織・管理論 等 4

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

社会学の基本的なテキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	憲法演習 I	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

基本的人権および統治機構についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 人権の概念に関する問題 1 | 31. 二院制、国会・議院の権能に関する問題 3 |
| 2. 人権の概念に関する問題 2 | 32. 衆議院の解散に関する問題 1 |
| 3. 人権と主体に関する問題 1 | 33. 衆議院の解散に関する問題 2 |
| 4. 人権と主体に関する問題 2 | 34. 衆議院の解散に関する問題 3 |
| 5. 人権と公共の福祉に関する問題 1 | 35. 内閣の組織と権能に関する問題 1 |
| 6. 人権と公共の福祉に関する問題 2 | 36. 内閣の組織と権能に関する問題 2 |
| 7. 私人間における人権に関する問題 1 | 37. 内閣の組織と権能に関する問題 3 |
| 8. 私人間における人権に関する問題 2 | 38. 議院内閣制に関する問題 1 |
| 9. 新しい人権に関する問題 1 | 39. 議院内閣制に関する問題 2 |
| 10. 新しい人権に関する問題 2 | 40. 議院内閣制に関する問題 3 |
| 11. 法の下での平等に関する問題 1 | 41. 財政に関する問題 1 |
| 12. 法の下での平等に関する問題 2 | 42. 財政に関する問題 2 |
| 13. 精神的自由権に関する問題 1 | 43. 財政に関する問題 3 |
| 14. 精神的自由権に関する問題 2 | 44. 地方自治に関する問題 1 |
| 15. 職業選択・居住移転の自由に関する問題 1 | 45. 地方自治に関する問題 2 |
| 16. 職業選択・居住移転の自由に関する問題 2 | 46. 地方自治に関する問題 3 |
| 17. 財産権の保障に関する問題 1 | 47. 司法権に関する問題 1 |
| 18. 財産権の保障に関する問題 2 | 48. 司法権に関する問題 2 |
| 19. 人身の自由と適正手続に関する問題 1 | 49. 司法権に関する問題 3 |
| 20. 人身の自由と適正手続に関する問題 2 | 50. 違憲審査制に関する問題 1 |
| 21. 国務請求権と参政権に関する問題 1 | 51. 違憲審査制に関する問題 2 |
| 22. 国務請求権と参政権に関する問題 2 | 52. 違憲審査制に関する問題 3 |
| 23. 生存権・労働基本権に関する問題 1 | 53. 憲法改正等に関する問題 等 1 |
| 24. 生存権・労働基本権に関する問題 2 | 54. 憲法改正等に関する問題 等 2 |
| 25. 生存権・労働基本権に関する問題 3 | 55. 憲法改正等に関する問題 等 3 |
| 26. 教育を受ける権利に関する問題 1 | 56. 総合演習 1 |
| 27. 教育を受ける権利に関する問題 2 | 57. 総合演習 2 |
| 28. 教育を受ける権利に関する問題 3 | 58. 総合演習 3 |
| 29. 二院制、国会・議院の権能に関する問題 1 | 59. 総合演習 4 |
| 30. 二院制、国会・議院の権能に関する問題 2 | 60. 総合演習 5 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

憲法の基本的テキスト、判例集、種々の問題集および問題プリント。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	数的推理演習	開講年次	2年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力をより一層深いものにするために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 方程式・不等式 1 | 41. 仕事算 1 | 81. 四角形・多角形 6 |
| 2. 方程式・不等式 2 | 42. 仕事算 2 | 82. 円 1 |
| 3. 方程式・不等式 3 | 43. 仕事算 3 | 83. 円 2 |
| 4. 方程式・不等式 4 | 44. 仕事算 4 | 84. 円 3 |
| 5. 方程式・不等式 5 | 45. 仕事算 5 | 85. 円 4 |
| 6. 数 1 | 46. 場合の数 1 | 86. 円 5 |
| 7. 数 2 | 47. 場合の数 2 | 87. 空間図形 1 |
| 8. 数 3 | 48. 場合の数 3 | 88. 空間図形 2 |
| 9. 数 4 | 49. 場合の数 4 | 89. 空間図形 3 |
| 10. 数 5 | 50. 場合の数 5 | 90. 空間図形 4 |
| 11. 数列 1 | 51. 確率 1 | 91. 空間図形 5 |
| 12. 数列 2 | 52. 確率 2 | 92. 総合演習 1 |
| 13. 数列 3 | 53. 確率 3 | 93. 総合演習 2 |
| 14. 数列 4 | 54. 確率 4 | 94. 総合演習 3 |
| 15. 数列 5 | 55. 確率 5 | 95. 総合演習 4 |
| 16. 魔方陣 1 | 56. 測量 1 | 96. 総合演習 5 |
| 17. 魔方陣 2 | 57. 測量 2 | 97. 総合演習 6 |
| 18. 魔方陣 3 | 58. 測量 3 | 98. 総合演習 7 |
| 19. 魔方陣 4 | 59. 測量 4 | 99. 総合演習 8 |
| 20. 魔方陣 5 | 60. 測量 5 | 100. 総合演習 9 |
| 21. 覆面算・虫喰算 1 | 61. 暦 1 | |
| 22. 覆面算・虫喰算 2 | 62. 暦 2 | |
| 23. 覆面算・虫喰算 3 | 63. 暦 3 | |
| 24. 覆面算・虫喰算 4 | 64. 暦 4 | |
| 25. 覆面算・虫喰算 5 | 65. 暦 5 | |
| 26. 比・割合 1 | 66. 図形の基礎 1 | |
| 27. 比・割合 2 | 67. 図形の基礎 2 | |
| 28. 比・割合 3 | 68. 図形の基礎 3 | |
| 29. 比・割合 4 | 69. 図形の基礎 4 | |
| 30. 比・割合 5 | 70. 図形の基礎 5 | |
| 31. 損益算 1 | 71. 三角形 1 | |
| 32. 損益算 2 | 72. 三角形 2 | |
| 33. 損益算 3 | 73. 三角形 3 | |
| 34. 損益算 4 | 74. 三角形 4 | |
| 35. 損益算 5 | 75. 三角形 5 | |
| 36. 時間・距離・速さ 1 | 76. 四角形・多角形 1 | |
| 37. 時間・距離・速さ 2 | 77. 四角形・多角形 2 | |
| 38. 時間・距離・速さ 3 | 78. 四角形・多角形 3 | |
| 39. 時間・距離・速さ 4 | 79. 四角形・多角形 4 | |
| 40. 時間・距離・速さ 5 | 80. 四角形・多角形 5 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理演習	開講年次	2年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域および平面・立体図形・軌跡等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域の基本を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 集合 1 | 41. 数量推理 1 | 81. 立体図形 1 |
| 2. 集合 2 | 42. 数量推理 2 | 82. 立体図形 2 |
| 3. 集合 3 | 43. 数量推理 3 | 83. 立体図形 3 |
| 4. 集合 4 | 44. 数量推理 4 | 84. 立体図形 4 |
| 5. 集合 5 | 45. 数量推理 5 | 85. 立体図形 5 |
| 6. 論理命題 1 | 46. 手順 1 | 86. 位相・道順 1 |
| 7. 論理命題 2 | 47. 手順 2 | 87. 位相・道順 2 |
| 8. 論理命題 3 | 48. 手順 3 | 88. 位相・道順 3 |
| 9. 論理命題 4 | 49. 手順 4 | 89. 位相・道順 4 |
| 10. 論理命題 5 | 50. 手順 5 | 90. 位相・道順 5 |
| 11. 暗号 1 | 51. 平面図形 1 | 91. 総合演習 1 |
| 12. 暗号 2 | 52. 平面図形 2 | 92. 総合演習 2 |
| 13. 暗号 3 | 53. 平面図形 3 | 93. 総合演習 3 |
| 14. 暗号 4 | 54. 平面図形 4 | 94. 総合演習 4 |
| 15. 暗号 5 | 55. 平面図形 5 | 95. 総合演習 5 |
| 16. 対応関係 1 | 56. 軌跡 1 | 96. 総合演習 6 |
| 17. 対応関係 2 | 57. 軌跡 2 | 97. 総合演習 7 |
| 18. 対応関係 3 | 58. 軌跡 3 | 98. 総合演習 8 |
| 19. 対応関係 4 | 59. 軌跡 4 | 99. 総合演習 9 |
| 20. 対応関係 5 | 60. 軌跡 5 | 100. 総合演習 10 |
| 21. 試合と勝敗 1 | 61. 投影図 1 | |
| 22. 試合と勝敗 2 | 62. 投影図 2 | |
| 23. 試合と勝敗 3 | 63. 投影図 3 | |
| 24. 試合と勝敗 4 | 64. 投影図 4 | |
| 25. 試合と勝敗 5 | 65. 投影図 5 | |
| 26. 証言推理 1 | 66. 展開図 1 | |
| 27. 証言推理 2 | 67. 展開図 2 | |
| 28. 証言推理 3 | 68. 展開図 3 | |
| 29. 証言推理 4 | 69. 展開図 4 | |
| 30. 証言推理 5 | 70. 展開図 5 | |
| 31. 順序関係 1 | 71. 折り紙 1 | |
| 32. 順序関係 2 | 72. 折り紙 2 | |
| 33. 順序関係 3 | 73. 折り紙 3 | |
| 34. 順序関係 4 | 74. 折り紙 4 | |
| 35. 順序関係 5 | 75. 折り紙 5 | |
| 36. 方位・位置 1 | 76. サイコロ 1 | |
| 37. 方位・位置 2 | 77. サイコロ 2 | |
| 38. 方位・位置 3 | 78. サイコロ 3 | |
| 39. 方位・位置 4 | 79. サイコロ 4 | |
| 40. 方位・位置 5 | 80. サイコロ 5 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	資料分析演習	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 実数・指数 1 | 21. 構成比 6 |
| 2. 実数・指数 2 | 22. 構成比 7 |
| 3. 実数・指数 3 | 23. 構成比 8 |
| 4. 実数・指数 4 | 24. 構成比 9 |
| 5. 実数・指数 5 | 25. 構成比 10 |
| 6. 構成比 1 | 26. 増加率・その他 6 |
| 7. 構成比 2 | 27. 増加率・その他 7 |
| 8. 構成比 3 | 28. 増加率・その他 8 |
| 9. 構成比 4 | 29. 増加率・その他 9 |
| 10. 構成比 5 | 30. 増加率・その他 10 |
| 11. 増加率・その他 1 | 31. 総合演習 1 |
| 12. 増加率・その他 2 | 32. 総合演習 2 |
| 13. 増加率・その他 3 | 33. 総合演習 3 |
| 14. 増加率・その他 4 | 34. 総合演習 4 |
| 15. 増加率・その他 5 | 35. 総合演習 5 |
| 16. 実数・指数 6 | 36. 総合演習 6 |
| 17. 実数・指数 7 | 37. 総合演習 7 |
| 18. 実数・指数 8 | 38. 総合演習 8 |
| 19. 実数・指数 9 | 39. 総合演習 9 |
| 20. 実数・指数 10 | 40. 総合演習 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	資料分析演習Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の応用力を身につけ、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 実数・指数 1 | 21. 構成比 6 |
| 2. 実数・指数 2 | 22. 構成比 7 |
| 3. 実数・指数 3 | 23. 構成比 8 |
| 4. 実数・指数 4 | 24. 構成比 9 |
| 5. 実数・指数 5 | 25. 構成比 10 |
| 6. 構成比 1 | 26. 増加率・その他 6 |
| 7. 構成比 2 | 27. 増加率・その他 7 |
| 8. 構成比 3 | 28. 増加率・その他 8 |
| 9. 構成比 4 | 29. 増加率・その他 9 |
| 10. 構成比 5 | 30. 増加率・その他 10 |
| 11. 増加率・その他 1 | 31. 総合演習 1 |
| 12. 増加率・その他 2 | 32. 総合演習 2 |
| 13. 増加率・その他 3 | 33. 総合演習 3 |
| 14. 増加率・その他 4 | 34. 総合演習 4 |
| 15. 増加率・その他 5 | 35. 総合演習 5 |
| 16. 実数・指数 6 | 36. 総合演習 6 |
| 17. 実数・指数 7 | 37. 総合演習 7 |
| 18. 実数・指数 8 | 38. 総合演習 8 |
| 19. 実数・指数 9 | 39. 総合演習 9 |
| 20. 実数・指数 10 | 40. 総合演習 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	文章研究Ⅲ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

現代文・古文・漢文・英文等の文章に対する読解力・内容把握力・構成力等の総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 要旨把握 1 | 21. 古文の内容把握 1 |
| 2. 要旨把握 2 | 22. 古文の内容把握 2 |
| 3. 要旨把握 3 | 23. 古文の内容把握 3 |
| 4. 要旨把握 4 | 24. 古文の内容把握 4 |
| 5. 内容把握 1 | 25. 漢文の内容把握 1 |
| 6. 内容把握 2 | 26. 漢文の内容把握 2 |
| 7. 内容把握 3 | 27. 漢文の内容把握 3 |
| 8. 内容把握 4 | 28. 漢文の内容把握 4 |
| 9. 下線部把握 1 | 29. 英文の内容把握 1 |
| 10. 下線部把握 2 | 30. 英文の内容把握 2 |
| 11. 下線部把握 3 | 31. 英文の内容把握 3 |
| 12. 下線部把握 4 | 32. 英文の内容把握 4 |
| 13. 空欄補充 1 | 33. 総合演習 1 |
| 14. 空欄補充 2 | 34. 総合演習 2 |
| 15. 空欄補充 3 | 35. 総合演習 3 |
| 16. 空欄補充 4 | 36. 総合演習 4 |
| 17. 文章整序 1 | 37. 総合演習 5 |
| 18. 文章整序 2 | 38. 総合演習 6 |
| 19. 文章整序 3 | 39. 総合演習 7 |
| 20. 文章整序 4 | 40. 総合演習 8 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

文章研究に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	適性演習Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

適性演習Ⅰを踏まえて事務処理能力の基本である作業につき、計算・分類・照合・置き換え・図形把握等の形式を中心として、より複雑な問題についてスパイラル方式による演習を行う。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 計算・分類・図形把握の形式1 | 21. 分類・置き換え・図形把握の形式1 |
| 2. 計算・分類・図形把握の形式2 | 22. 分類・置き換え・図形把握の形式2 |
| 3. 計算・分類・図形把握の形式3 | 23. 分類・置き換え・図形把握の形式3 |
| 4. 計算・分類・図形把握の形式4 | 24. 分類・置き換え・図形把握の形式4 |
| 5. 計算・分類・図形把握の形式5 | 25. 分類・置き換え・図形把握の形式5 |
| 6. 計算・照合・図形把握の形式1 | 26. 照合・置き換え・図形把握の形式等1 |
| 7. 計算・照合・図形把握の形式2 | 27. 照合・置き換え・図形把握の形式等2 |
| 8. 計算・照合・図形把握の形式3 | 28. 照合・置き換え・図形把握の形式等3 |
| 9. 計算・照合・図形把握の形式4 | 29. 照合・置き換え・図形把握の形式等4 |
| 10. 計算・照合・図形把握の形式5 | 30. 照合・置き換え・図形把握の形式等5 |
| 11. 計算・置き換え・図形把握の形式1 | 31. 総合演習1 |
| 12. 計算・置き換え・図形把握の形式2 | 32. 総合演習2 |
| 13. 計算・置き換え・図形把握の形式3 | 33. 総合演習3 |
| 14. 計算・置き換え・図形把握の形式4 | 34. 総合演習4 |
| 15. 計算・置き換え・図形把握の形式5 | 35. 総合演習5 |
| 16. 分類・照合・図形把握の形式1 | 36. 総合演習6 |
| 17. 分類・照合・図形把握の形式2 | 37. 総合演習7 |
| 18. 分類・照合・図形把握の形式3 | 38. 総合演習8 |
| 19. 分類・照合・図形把握の形式4 | 39. 総合演習9 |
| 20. 分類・照合・図形把握の形式5 | 40. 総合演習10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

適性に関するプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会学	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会関係における地位と役割、階級と階層、家族、都市と農村、および社会変動等についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 社会関係における地位と役割 1
2. 社会関係における地位と役割 2
3. 社会関係における地位と役割 3
4. 階級と階層 1
5. 階級と階層 2
6. 階級と階層 3
7. 社会変動論 1
8. 社会変動論 2
9. 社会変動論 3
10. 家族 1
11. 家族 2
12. 家族 3
13. 都市と農村 1
14. 都市と農村 2
15. 都市と農村 3
16. 都市と農村 4
17. 組織・管理論 等 1
18. 組織・管理論 等 2
19. 組織・管理論 等 3
20. 組織・管理論 等 4

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

セリエ社会学を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	公法演習	開講年次	2年	授業時数	80	単位数	4
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

基本的人権および統治機構についての理解をより一層深めるために、種々の実践問題を通して多角的に検討していく。公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

1. 人権の観念に関する実践問題 1	41. 違憲審査制に関する実践問題 1
2. 人権の観念に関する実践問題 2	42. 違憲審査制に関する実践問題 2
3. 人権と主体に関する実践問題 1	43. 憲法改正等に関する実践問題 1
4. 人権と主体に関する実践問題 2	44. 憲法改正等に関する実践問題 2
5. 人権と公共の福祉に関する実践問題 1	45. 総合演習 1
6. 人権と公共の福祉に関する実践問題 2	46. 総合演習 2
7. 私人間における人権に関する実践問題 1	47. 総合演習 3
8. 私人間における人権に関する実践問題 2	48. 総合演習 4
9. 新しい人権に関する実践問題 1	49. 行政法の意義、法源に関する問題 1
10. 新しい人権に関する実践問題 2	50. 行政法の意義、法源に関する問題 2
11. 法の下での平等に関する実践問題 1	51. 行政法の意義、法源に関する問題 3
12. 法の下での平等に関する実践問題 2	52. 公法と私法、法律による行政の原理による問題 1
13. 精神的自由権に関する実践問題 1	53. 公法と私法、法律による行政の原理による問題 2
14. 精神的自由権に関する実践問題 2	54. 公法と私法、法律による行政の原理による問題 3
15. 職業選択・居住移転の自由に関する実践問題 1	55. 行政の組織に関する問題 1
16. 職業選択・居住移転の自由に関する実践問題 2	56. 行政の組織に関する問題 2
17. 財産権の保障に関する実践問題 1	57. 行政の組織に関する問題 3
18. 財産権の保障に関する実践問題 2	58. 行政行為に関する問題 1
19. 人身の自由と適正手続に関する実践問題 1	59. 行政行為に関する問題 2
20. 人身の自由と適正手続に関する実践問題 2	60. 行政行為に関する問題 3
21. 国務請求権と参政権に関する実践問題 1	61. 行政上の義務履行確保の手段に関する問題 1
22. 国務請求権と参政権に関する実践問題 2	62. 行政上の義務履行確保の手段に関する問題 2
23. 生存権・労働基本権に関する実践問題 1	63. 行政上の義務履行確保の手段に関する問題 3
24. 生存権・労働基本権に関する実践問題 2	64. 国家賠償法1条・2条に関する問題 1
25. 教育を受ける権利に関する実践問題 1	65. 国家賠償法1条・2条に関する問題 2
26. 教育を受ける権利に関する実践問題 2	66. 国家賠償法1条・2条に関する問題 3
27. 二院制、国会・議院の権能に関する実践問題 1	67. 行政上の損失補償に関する問題 1
28. 二院制、国会・議院の権能に関する実践問題 2	68. 行政上の損失補償に関する問題 2
29. 衆議院の解散に関する実践問題 1	69. 行政上の損失補償に関する問題 3
30. 衆議院の解散に関する実践問題 2	70. 不服申し立て制度に関する問題 1
31. 内閣の組織と権能に関する実践問題 1	71. 不服申し立て制度に関する問題 2
32. 内閣の組織と権能に関する実践問題 2	72. 不服申し立て制度に関する問題 3
33. 議院内閣制に関する実践問題 1	73. 行政事件訴訟に関する問題 1
34. 議院内閣制に関する実践問題 2	74. 行政事件訴訟に関する問題 2
35. 財政に関する実践問題 1	75. 行政事件訴訟に関する問題 3
36. 財政に関する実践問題 2	76. 総合演習 1
37. 地方自治に関する実践問題 1	77. 総合演習 2
38. 地方自治に関する実践問題 2	78. 総合演習 3
39. 司法権に関する実践問題 1	79. 総合演習 4
40. 司法権に関する実践問題 2	80. 総合演習 5 ※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

憲法・行政法の基本的テキスト、判例集、種々の問題集および問題プリント。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	民法演習 I	開講年次	2年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

民法全般について、基本事項および各条文の解釈、判例および通説的な見解の考察等についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 総則・物権に関する問題 1 | 31. 契約法に関する問題 4 |
| 2. 総則・物権に関する問題 2 | 32. 契約法に関する問題 5 |
| 3. 総則・物権に関する問題 3 | 33. 契約法に関する問題 6 |
| 4. 総則・物権に関する問題 4 | 34. 契約法に関する問題 7 |
| 5. 総則・物権に関する問題 5 | 35. 契約法に関する問題 8 |
| 6. 総則・物権に関する問題 6 | 36. 契約法に関する問題 9 |
| 7. 総則・物権に関する問題 7 | 37. 不法行為に関する問題 1 |
| 8. 総則・物権に関する問題 8 | 38. 不法行為に関する問題 2 |
| 9. 総則・物権に関する問題 9 | 39. 不法行為に関する問題 3 |
| 10. 抵当権・譲渡担保に関する問題 1 | 40. 不法行為に関する問題 4 |
| 11. 抵当権・譲渡担保に関する問題 2 | 41. 不法行為に関する問題 5 |
| 12. 抵当権・譲渡担保に関する問題 3 | 42. 不法行為に関する問題 6 |
| 13. 抵当権・譲渡担保に関する問題 4 | 43. 不法行為に関する問題 7 |
| 14. 抵当権・譲渡担保に関する問題 5 | 44. 不法行為に関する問題 8 |
| 15. 抵当権・譲渡担保に関する問題 6 | 45. 不法行為に関する問題 9 |
| 16. 抵当権・譲渡担保に関する問題 7 | 46. 親族相続に関する問題 等 1 |
| 17. 抵当権・譲渡担保に関する問題 8 | 47. 親族相続に関する問題 等 2 |
| 18. 抵当権・譲渡担保に関する問題 9 | 48. 親族相続に関する問題 等 3 |
| 19. 債権総論に関する問題 1 | 49. 親族相続に関する問題 等 4 |
| 20. 債権総論に関する問題 2 | 50. 親族相続に関する問題 等 5 |
| 21. 債権総論に関する問題 3 | 51. 親族相続に関する問題 等 6 |
| 22. 債権総論に関する問題 4 | 52. 親族相続に関する問題 等 7 |
| 23. 債権総論に関する問題 5 | 53. 親族相続に関する問題 等 8 |
| 24. 債権総論に関する問題 6 | 54. 親族相続に関する問題 等 9 |
| 25. 債権総論に関する問題 7 | 55. 総合演習 1 |
| 26. 債権総論に関する問題 8 | 56. 総合演習 2 |
| 27. 債権総論に関する問題 9 | 57. 総合演習 3 |
| 28. 契約法に関する問題 1 | 58. 総合演習 4 |
| 29. 契約法に関する問題 2 | 59. 総合演習 5 |
| 30. 契約法に関する問題 3 | 60. 総合演習 6 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

民法の基本的テキスト、判例集、種々の問題集および問題プリント。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	経済学演習Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

完全競争市場における消費者行動および企業者行動の分析、不完全競争市場における企業者行動の分析、市場の失敗等についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 効用関数・無差別曲線に関する問題 1 | 31. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 1 |
| 2. 効用関数・無差別曲線に関する問題 2 | 32. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 2 |
| 3. 効用関数・無差別曲線に関する問題 3 | 33. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 3 |
| 4. 効用関数・無差別曲線に関する問題 4 | 34. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 4 |
| 5. 効用関数・無差別曲線に関する問題 5 | 35. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 5 |
| 6. 効用関数・無差別曲線に関する問題 6 | 36. 費用最小化・利潤最大化に関する問題 6 |
| 7. 最適消費量の決定に関する問題 1 | 37. 供給曲線の導出に関する問題 1 |
| 8. 最適消費量の決定に関する問題 2 | 38. 供給曲線の導出に関する問題 2 |
| 9. 最適消費量の決定に関する問題 3 | 39. 供給曲線の導出に関する問題 3 |
| 10. 最適消費量の決定に関する問題 4 | 40. 供給曲線の導出に関する問題 4 |
| 11. 最適消費量の決定に関する問題 5 | 41. 供給曲線の導出に関する問題 5 |
| 12. 最適消費量の決定に関する問題 6 | 42. 供給曲線の導出に関する問題 6 |
| 13. 所得効果・代替効果に関する問題 1 | 43. 独占・寡占に関する問題 1 |
| 14. 所得効果・代替効果に関する問題 2 | 44. 独占・寡占に関する問題 2 |
| 15. 所得効果・代替効果に関する問題 3 | 45. 独占・寡占に関する問題 3 |
| 16. 所得効果・代替効果に関する問題 4 | 46. 独占・寡占に関する問題 4 |
| 17. 所得効果・代替効果に関する問題 5 | 47. 独占・寡占に関する問題 5 |
| 18. 所得効果・代替効果に関する問題 6 | 48. 独占・寡占に関する問題 6 |
| 19. 需要曲線の導出に関する問題 1 | 49. 市場の失敗に関する問題 等 1 |
| 20. 需要曲線の導出に関する問題 2 | 50. 市場の失敗に関する問題 等 2 |
| 21. 需要曲線の導出に関する問題 3 | 51. 市場の失敗に関する問題 等 3 |
| 22. 需要曲線の導出に関する問題 4 | 52. 市場の失敗に関する問題 等 4 |
| 23. 需要曲線の導出に関する問題 5 | 53. 市場の失敗に関する問題 等 5 |
| 24. 需要曲線の導出に関する問題 6 | 54. 市場の失敗に関する問題 等 6 |
| 25. 生産関数・等量曲線に関する問題 1 | 55. 総合演習 1 |
| 26. 生産関数・等量曲線に関する問題 2 | 56. 総合演習 2 |
| 27. 生産関数・等量曲線に関する問題 3 | 57. 総合演習 3 |
| 28. 生産関数・等量曲線に関する問題 4 | 58. 総合演習 4 |
| 29. 生産関数・等量曲線に関する問題 5 | 59. 総合演習 5 |
| 30. 生産関数・等量曲線に関する問題 6 | 60. 総合演習 6 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

ミクロ経済学の基本的テキスト、種々の問題集および問題プリント。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	教育・心理学	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

教育学においては、教育史、教育社会学、教育法規、生涯学習、教育方法についての理解を目指し、心理学においては、学習、認知、発達、社会等についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 教育学：教育史 1
2. 教育学：教育史 2
3. 教育学：教育社会学 1
4. 教育学：教育社会学 2
5. 教育学：教育法規 1
6. 教育学：教育法規 2
7. 教育学：生涯学習 1
8. 教育学：生涯学習 2
9. 教育学：教育方法学 1
10. 教育学：教育方法学 2
11. 心理学：感覚・知覚 1
12. 心理学：感覚・知覚 2
13. 心理学：学習
14. 心理学：認知
15. 心理学：発達
16. 心理学：社会
17. 心理学：人格・臨床
18. 心理学：教育
19. 心理学：感情
20. 心理学：心理測定法

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

教育学・心理学の基本的なテキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	政治学・行政学演習 I	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治制度、選挙制度、政治権力、イデオロギーと政治意識、政党と圧力団体、国家概念、政治思想、大衆社会とマスメディア等の理解を一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。

行政学の歴史・理論、行政権の役割と行政責任、情報公開、行政改革と地方分権等の理解を一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

1. 政治学：各国の政治制度に関する問題
2. 政治学：選挙制度に関する問題
3. 政治学：政治権力に関する問題
4. 政治学：イデオロギーと政治意識に関する問題
5. 政治学：政党と圧力団体に関する問題
6. 政治学：国家概念に関する問題
7. 政治学：現代政治の諸問題に関する問題
8. 政治学：政治思想と現代政治学に関する問題 等
9. 行政学：官房学に関する問題
10. 行政学：アメリカ行政学の展開に関する問題
11. 行政学：官僚制に関する問題
12. 行政学：行政国家に関する問題
13. 行政学：現代の行政に関する問題
14. 行政学：地方自治に関する問題
15. 行政学：予算に関する問題
16. 行政学：行政広報に関する問題
17. 行政学：情報公開に関する問題
18. 行政学：行政改革に関する問題 等
19. 政治学・行政学：総合演習 1
20. 政治学・行政学：総合演習 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治学・行政学の基本的テキストおよび問題プリント。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	経営学・財政学演習 I	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

経営学説全般、伝統的管理論、意思決定論、リーダーシップ論、経営組織全般等についての理解を目指す。種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。

予算制度、一般会計予算、財政投融资、地方財政、国庫金制度等財政の仕組みについての理解を深めるため、演習と解説講義を行う。公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

1. 経営学：経営学説全般に関する問題 1
2. 経営学：経営学説全般に関する問題 2
3. 経営学：伝統的管理論・人間関係論に関する問題 1
4. 経営学：伝統的管理論・人間関係論に関する問題 2
5. 経営学：意思決定論に関する問題
6. 経営学：リーダーシップ論に関する問題
7. 経営学：経営組織全般に関する問題
8. 経営学：事業部制組織に関する問題
9. 経営学：経営戦略全般に関する問題 等
10. 財政学：予算制度に関する問題 1
11. 財政学：予算制度に関する問題 2
12. 財政学：一般会計予算に関する問題 1
13. 財政学：一般会計予算に関する問題 2
14. 財政学：財政投融资に関する問題
15. 財政学：地方財政に関する問題 1
16. 財政学：地方財政に関する問題 2
17. 財政学：国庫金制度に関する問題 等
18. 経営学・財政学：総合演習 1
19. 経営学・財政学：総合演習 2
20. 経営学・財政学：総合演習 3

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

経営学・財政学の基本的テキストを中心とし、種々の問題集および問題プリント。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会・教育・心理学	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会学においては、社会関係における地位と役割、階級と階層、家族、都市と農村、および社会変動等についての理解を目指す。

教育学においては、教育史、教育社会学、教育法規、生涯学習、教育方法についての理解を目指す。

心理学においては、学習、認知、発達、社会等についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 社会学：社会関係における地位と役割
2. 社会学：階級と階層
3. 社会学：社会変動論
4. 社会学：家族
5. 社会学：都市と農村
6. 社会学：組織・管理論 等
7. 教育学：教育史
8. 教育学：教育社会学
9. 教育学：教育法規
10. 教育学：生涯学習
11. 教育学：教育方法学
12. 心理学：感覚・知覚
13. 心理学：学習
14. 心理学：認知
15. 心理学：発達
16. 心理学：社会
17. 心理学：人格・臨床
18. 心理学：教育
19. 心理学：感情
20. 心理学：心理測定法

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

社会学・教育学・心理学の基本的なテキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	企業研究Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (各業界を代表する企業の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

就職活動に伴う企業研究として、実際に活躍している各業界を代表する企業の人事担当者より、会社の特徴や仕事内容、採用試験、企業の求める人物像などについて講演をしていただき、実際の仕事概要等を深く理解することにより、今後の就職活動に向けて自ら考え、行動する力を養成するため、2年次10月頃に実施する。

〔講義・演習項目〕

1. 企業研究の方法 1
2. 企業研究の方法 2
3. 企業研究の方法 3
4. 参加する企業について事前研究 1
5. 参加する企業について事前研究 2
6. 参加する企業について事前研究 3
7. 参加する企業について事前研究 4
8. 参加する企業について事前研究 5
9. 参加する企業について事前研究 6
10. 各企業の人事担当者からのご講演 1
11. 各企業の人事担当者からのご講演 2
12. 各企業の人事担当者からのご講演 3
13. 各企業の人事担当者からのご講演 4
14. 各企業の人事担当者からのご講演 5
15. 各企業の人事担当者からのご講演 6
16. 各企業の人事担当者からのご講演 7
17. 各企業の人事担当者からのご講演 8
18. 参加した企業について事後研究 1
19. 参加した企業について事後研究 2
20. 参加した企業について事後研究 3

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

企業等が準備するパンフレットおよび種々の資料を中心とする。

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、説明会における姿勢、レポート内容等を総合評価する。

科目名	官公庁研究Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (官公庁の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

官公庁の方々による4月に実施される業務説明会を通して、公務員の仕事概要等を深く理解することにより、今後希望する公務員試験に向けて考え行動する力を養成する。

〔講義・演習項目〕

1. 官公庁研究の方法1
2. 官公庁研究の方法2
3. 官公庁研究の方法3
4. 参加する官公庁について事前研究1
5. 参加する官公庁について事前研究2
6. 参加する官公庁について事前研究3
7. 参加する官公庁について事前研究4
8. 参加する官公庁について事前研究5
9. 参加する官公庁について事前研究6
10. 参加する官公庁について事前研究7
11. 参加する官公庁について事前研究8
12. 各官公庁の人事担当者からのご講演1
13. 各官公庁の人事担当者からのご講演2
14. 各官公庁の人事担当者からのご講演3
15. 各官公庁の人事担当者からのご講演4
16. 参加した官公庁について事後研究1
17. 参加した官公庁について事後研究2
18. 参加した官公庁について事後研究3
19. 参加した官公庁について事後研究4
20. 参加した官公庁について事後研究5

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

官公庁が準備するパンフレットおよび種々の資料を中心とする。

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、説明会における姿勢、レポート内容等を総合評価する。

科目名	コンピュータ演習	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

コンピュータの起動、文字入力、表計算、ファイルの操作、印刷、データの保存等の基本操作の習得を目指す。また、コンピュータおよび関連知識についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. コンピュータの仕組みと操作 1
2. コンピュータの仕組みと操作 2
3. コンピュータの仕組みと操作 3
4. データの入力 1
5. データの入力 2
6. データの入力 3
7. 表計算等のデータの処理 1
8. 表計算等のデータの処理 2
9. 表計算等のデータの処理 3
10. ファイルの操作 1
11. ファイルの操作 2
12. ファイルの操作 3
13. データの印刷 1
14. データの印刷 2
15. データの印刷 3
16. データの保存 1
17. データの保存 2
18. データの保存 3
19. 総合 1
20. 総合 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

情報処理に関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される課題の進捗状況、種々のテスト、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	卒業研究	開講年次	2年	授業時数	160	単位数	8
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

専門学校での学習の集大成として、就職先の業界研究や官庁研究など各学生がテーマを考え論文を作成する。

〔講義・演習項目〕

1. 卒業研究概要 1	41. 下書き作成 1 6	81. 下書き作成 5 6	121. 清書作成 2 1
2. 卒業研究概要 2	42. 下書き作成 1 7	82. 下書き作成 5 7	122. 清書作成 2 2
3. 卒業研究概要 3	43. 下書き作成 1 8	83. 下書き作成 5 8	123. 清書作成 2 3
4. 卒業研究概要 4	44. 下書き作成 1 9	84. 下書き作成 5 9	124. 清書作成 2 4
5. 卒業研究概要 5	45. 下書き作成 2 0	85. 下書き作成 6 0	125. 清書作成 2 5
6. テーマの研究 1	46. 下書き作成 2 1	86. 下書き作成 6 1	126. 清書作成 2 6
7. テーマの研究 2	47. 下書き作成 2 2	87. 下書き作成 6 2	127. 清書作成 2 7
8. テーマの研究 3	48. 下書き作成 2 3	88. 下書き作成 6 3	128. 清書作成 2 8
9. テーマの研究 4	49. 下書き作成 2 4	89. 下書き作成 6 4	129. 清書作成 2 9
10. テーマの研究 5	50. 下書き作成 2 5	90. 下書き作成 6 5	130. 清書作成 3 0
11. 情報収集 1	51. 下書き作成 2 6	91. 下書き作成 6 6	131. 清書作成 3 1
12. 情報収集 2	52. 下書き作成 2 7	92. 下書き作成 6 7	132. 清書作成 3 2
13. 情報収集 3	53. 下書き作成 2 8	93. 下書き作成 6 8	133. 清書作成 3 3
14. 情報収集 4	54. 下書き作成 2 9	94. 下書き作成 6 9	134. 清書作成 3 4
15. 情報収集 5	55. 下書き作成 3 0	95. 下書き作成 7 0	135. 清書作成 3 5
16. 情報収集 6	56. 下書き作成 3 1	96. 下書き作成 7 1	136. 清書作成 3 6
17. 情報収集 7	57. 下書き作成 3 2	97. 下書き作成 7 2	137. 清書作成 3 7
18. 情報収集 8	58. 下書き作成 3 3	98. 下書き作成 7 3	138. 清書作成 3 8
19. 情報収集 9	59. 下書き作成 3 4	99. 下書き作成 7 4	139. 清書作成 3 9
20. 情報収集 1 0	60. 下書き作成 3 5	100. 下書き作成 7 5	140. 清書作成 4 0
21. 情報収集 1 1	61. 下書き作成 3 6	101. 清書作成 1	141. 清書作成 4 1
22. 情報収集 1 2	62. 下書き作成 3 7	102. 清書作成 2	142. 清書作成 4 2
23. 情報収集 1 3	63. 下書き作成 3 8	103. 清書作成 3	143. 清書作成 4 3
24. 情報収集 1 4	64. 下書き作成 3 9	104. 清書作成 4	144. 清書作成 4 4
25. 情報収集 1 5	65. 下書き作成 4 0	105. 清書作成 5	145. 清書作成 4 5
26. 下書き作成 1	66. 下書き作成 4 1	106. 清書作成 6	146. 清書作成 4 6
27. 下書き作成 2	67. 下書き作成 4 2	107. 清書作成 7	147. 清書作成 4 7
28. 下書き作成 3	68. 下書き作成 4 3	108. 清書作成 8	148. 清書作成 4 8
29. 下書き作成 4	69. 下書き作成 4 4	109. 清書作成 9	149. 清書作成 4 9
30. 下書き作成 5	70. 下書き作成 4 5	110. 清書作成 1 0	150. 清書作成 5 0
31. 下書き作成 6	71. 下書き作成 4 6	111. 清書作成 1 1	151. 清書作成 5 1
32. 下書き作成 7	72. 下書き作成 4 7	112. 清書作成 1 2	152. 清書作成 5 2
33. 下書き作成 8	73. 下書き作成 4 8	113. 清書作成 1 3	153. 清書作成 5 3
34. 下書き作成 9	74. 下書き作成 4 9	114. 清書作成 1 4	154. 清書作成 5 4
35. 下書き作成 1 0	75. 下書き作成 5 0	115. 清書作成 1 5	155. 清書作成 5 5
36. 下書き作成 1 1	76. 下書き作成 5 1	116. 清書作成 1 6	156. 清書作成 5 6
37. 下書き作成 1 2	77. 下書き作成 5 2	117. 清書作成 1 7	157. 清書作成 5 7
38. 下書き作成 1 3	78. 下書き作成 5 3	118. 清書作成 1 8	158. 清書作成 5 8
39. 下書き作成 1 4	79. 下書き作成 5 4	119. 清書作成 1 9	159. 清書作成 5 9
40. 下書き作成 1 5	80. 下書き作成 5 5	120. 清書作成 2 0	160. 製本 等

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

各学生が収集した卒業研究に関する資料を中心とする。

〔成績評価〕

あらかじめ定められている手順・スケジュールにのっとって作成されているか等を考慮しつつ、論文の内容を総合判断して評価する。